

【報告】 市町村実態調査アンケートの結果

[令和7年度 保健事業担当者に対する研修会]

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
公衆衛生部 疫学解析研究課



大阪府循環器疾患予防研究委託業務

事業名	概要
健診・保健指導・医療レセプト等データ分析	NDB等データを分析し、地域の健康医療にかかる課題を明らかにし、大阪府や市町村における健康づくり事業等の企画立案を支援する。
行動変容プログラムの推進	市町村の健康・医療にかかる課題を明らかにし、課題に対応する理想的な取組み（汎用性の高い行動変容プログラム）を提言するとともに市町村の実践を支援する。 【取組みテーマ】 特定健診、特定保健指導、禁煙支援、高血圧対策、糖尿病対策 骨粗鬆症対策、ロコモティブシンドロームの予防
循環器疾患と危険因子のモニタリング研究	循環器疾患発症及びその危険因子の状況を継続してモニタリングし、社会変遷に伴い浮上する健康上の問題点を検出、及び研究によるさらなる健康増進要因を解明する。
府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能	健康づくり施策の企画立案等に必要な基礎データやエビデンスの提供、蓄積された循環器疾患対策に関するノウハウを活用するなど、健康づくりに関するシンクタンク機能を果たす。

◆詳細はHP (<https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/progress.html>) をご覧ください。

本事業の経過

詳細は各年度の報告書をご参照ください。

年度	実施対象と内容	実施内容の詳細
平成22年度～ 令和5年度	モデル実施や市町村ヒアリング等を通して、汎用性の高い行動変容プログラム(第一期)を開発、提示した。	特定健診の受診率向上 特定保健指導の実施率向上 特定健診・がん検診などの保健事業の場における禁煙支援 高血圧対策 糖尿病対策 ▶ 上記5テーマについて、汎プロ第一期として実施
令和6年度	汎用性の高い行動変容プログラム案(第二期)の検討、提示	<ul style="list-style-type: none"> ● 「骨粗鬆症検診の受診率向上」、「骨粗鬆症対策のさらなる充実」、「ロコモ予防(フレイル予防を含む)」の3つのプログラム案を開発 ● 骨粗鬆症対策、ロコモ予防に関する市町村の取組実態の把握(市町村アンケート)を実施
令和7年度	汎用性の高い行動変容プログラム案(第二期)の効果検証	<ul style="list-style-type: none"> ● R6年度に引き続き、市町村の取組実態の把握(市町村アンケート)を実施 ● プログラム案の効果検証のためのモデル実施(府内市町村にて)

アンケートの目的

- 大阪府内の市町村の保健事業の取組実態の把握
- 進捗状況の経年的な見える化
- 好事例を収集し、市町村の保健事業への支援に活かす

◆各市町村のご担当者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございます。

◆令和6年度の状況についてご回答いただいております。
(R7年度ではないことにご留意ください。)

◆本日資料として、一覧表・自由記載をまとめたもの、アンケート項目、プログラム案を提示しておりますのでご参照ください。

調査概要

項目	内容
目的	大阪府内市町村の骨粗鬆症対策、ロコモ予防の取組状況の実態把握
対象	市町村健康増進事業担当課 (国民健康保険担当課等との調整による回答も含む)
調査名	【2025年度実施】R6年度_骨粗鬆症対策・ロコモ予防に関する取組実態把握の調査
期間	2025年7月15日～2025年8月8日
方法	<ul style="list-style-type: none">アンケート回答様式 (Excelファイル) をメールに添付し、市町村担当課へ送信メールにて大阪健康安全基盤研究所疫学解析研究課へ提出
回答状況	府内全43市町村 (回答率: 100.0%)

【報告】 市町村実態調査アンケートの結果

[骨粗鬆症対策の取組実態 – 骨粗鬆症検診 / 骨密度測定]

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
公衆衛生部 疫学解析研究課
本田 瑛子

注意点(1)

〔名称について〕

- 「骨粗鬆症検診」は、健康増進事業の実施要項で示されている対象への実施を、「骨密度測定」は、「骨粗鬆症検診」以外の骨粗鬆症対策の取組みを示す。
- いずれも「骨粗鬆症検診」や「骨密度検診」などそれぞれ名称はあるものの、一旦はこのように区別しています。

〔集計の分母について〕

大阪府の健康寿命の延伸、市町村間の健康格差の縮小という点で、底上げを図るという背景と、府内43市町村での骨粗鬆症検診の実施を推進することを目的として、大阪府内市町村の状況を示すため、アンケート回答のある市町村(全43)を分母として集計した。

注意点(2)

〔調査結果について〕

- 本調査では、設問について「複数回答可」としているが、一部は「該当する項目1つ」としており、その項目については「**単一回答**」と明記している。
 - 「**前回からの比較**」については、**R5年度状況(R6年度のアンケート調査)とR6年度状況(今年度のアンケート調査)**を示す。
 - 「**前回**」とは、**R5年度状況**、「**今回**」とは、**R6年度状況**のことを示す。
 - 前回と今回で、一部の設問が異なるものがある。
 - 前回(R5年度状況)のアンケート結果は参考として、一覧表(資料2-1,2-2)の下部で示す。
- ◆過去の詳細は大阪健康安全基盤研究所ホームページに掲載の報告書よりご覧ください。

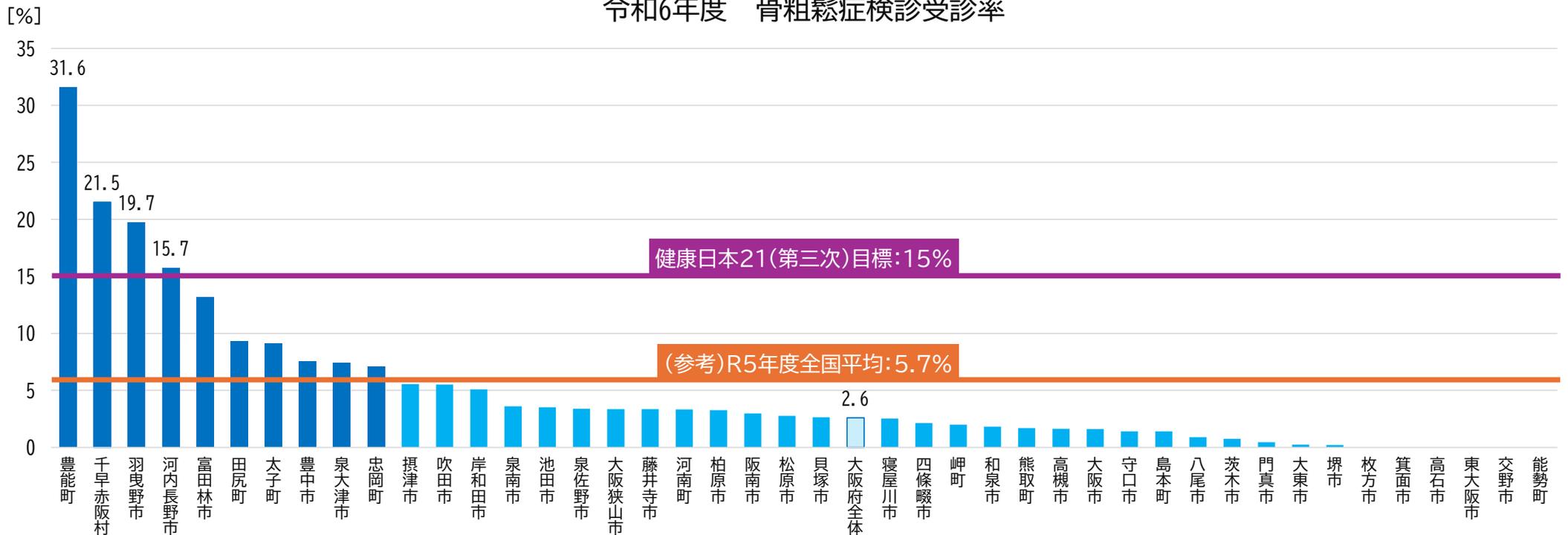
【報告書掲載ページ】

<https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/report.epiana.html>

(令和6年度「行動変容プログラムの推進」報告書)

骨粗鬆症検診 受診状況

令和6年度 骨粗鬆症検診受診率



- 大阪府提供:「感染症予防事業費等国庫負担(補助)金(健康増進事業)事業実績書(一部抜粋)」より作成
- 全国平均:公益財団法人骨粗鬆症財団調べ2023年よりhttps://www.jpof.or.jp/Portals/0/pdf/screening_rate/screeningrate_2023.pdf

骨粗鬆症検診 実施状況(1)

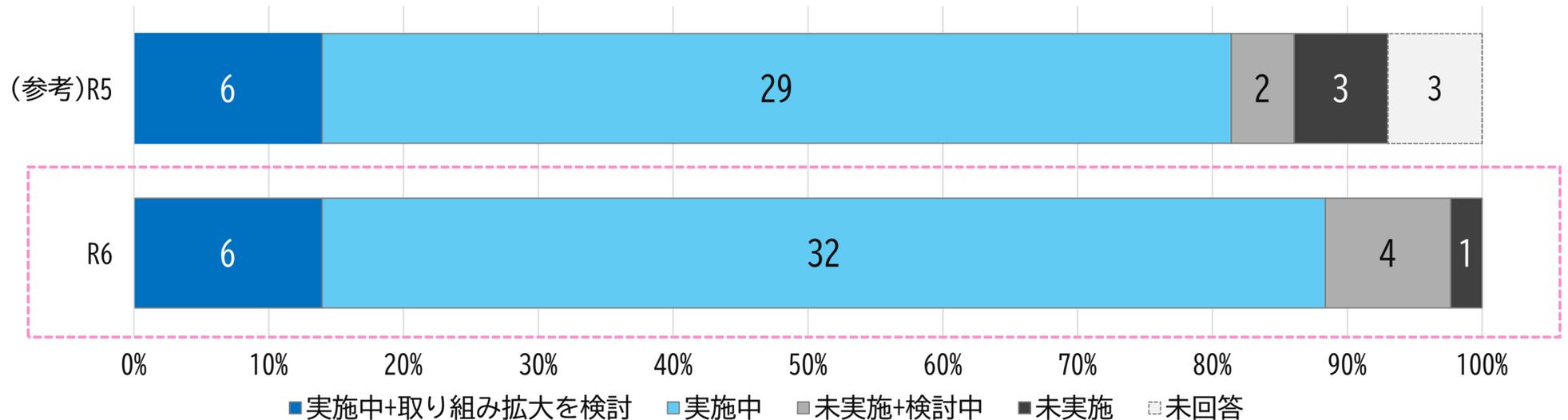
- 健康増進計画の指標としている 設問:1.(1),① ※単一回答
→19(44.2%)

- 骨密度検査・測定 of 機器を市町村として所持している 設問:1.(1),② ※単一回答
→6(14.0%)

骨粗鬆症検診 実施状況(2)

設問:1.(2) ※単一回答

- **9割弱**の市町村で骨粗鬆症検診を実施
- 未実施の市町村でも多くが実施に向けた検討をしている



(分母 : 43市町村)

骨粗鬆症検診 個別の受診勧奨

設問:2.(1)

- **17市町村(39.5%)**が受診券の送付などといった個別の受診勧奨を実施し、対象年齢は、40歳が最も多い。
- 個別の受診勧奨を複数の対象年齢で実施しているのが**13市町村(30.2%)**あった。

〔個別の受診勧奨を実施している市町村〕

豊中市*・高槻市*・摂津市*・大東市*・八尾市・羽曳野市*・富田林市*・河内長野市*・大阪狭山市*・河南町・千早赤阪村*・和泉市*・泉大津市*・貝塚市・泉南市*・田尻町*・岬町

〔注釈〕

下線は、R5年度全国平均5.7%より受診率が高い

*は、複数の年齢を対象に個別の受診勧奨を実施している

個別の受診勧奨の対象年齢	市町村数(割合)
40歳	15 (34.9%)
45歳	9 (20.9%)
50歳	12 (27.9%)
55歳	10 (23.3%)
60歳	12 (27.9%)
65歳	8 (18.6%)
70歳	9 (20.9%)

骨粗鬆症検診 広報・啓発

設問:2.(2)

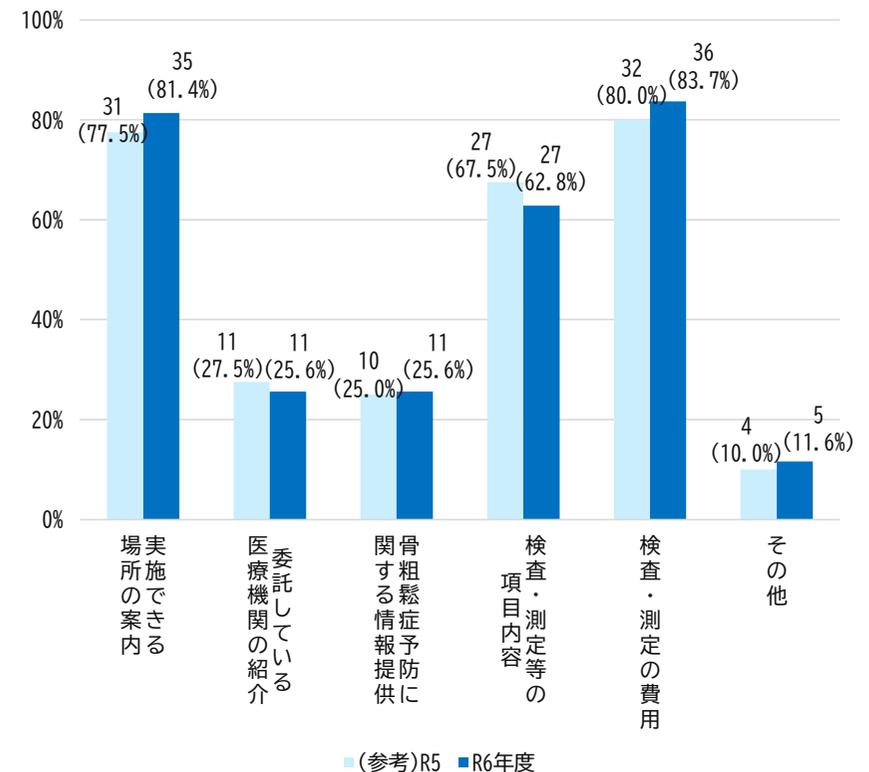
- ホームページや広報誌での案内は8割が実施。
- ポスター掲示等による案内は11市町村(25.6%)が実施。
- 乳幼児健診、がん検診、特定健診での声掛けを行う市町村の割合は変わりなし。
- イベントや他の健康教室での声掛けは4割程度が実施。
(前回:3割程度)

骨粗鬆症検診 掲載情報

設問:2.(3)

- 実際に検診を受ける際に必要な情報(費用、場所、検査内容等)の掲載については8割程度が実施。
- 骨粗鬆症検診の予防に関する情報提供は3割弱で前回と変わらず。

➤ 骨粗鬆症予防、検診の必要性の周知を推進する



(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；40市町村)

骨粗鬆症検診 検査後の対応(1)

設問:3.(2)

	「異常なし」	「要指導」	「要精検」
翌年度の検診・測定への受診勧奨	17 (39.5%)	16 (37.2%)	6 (14.0%)
骨粗鬆症予防/対策に関する保健指導の実施	23 (53.5%)	30 (69.8%)	27 (62.8%)
生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加の促し	－	13 (30.2%)	12 (27.9%)
医療機関での精密検査の受診勧奨	－	－	33 (77.6%)
受診勧奨後の受療確認	－	－	27 (62.8%)

- いずれの取組みについても、前回から傾向は変わらず。

骨粗鬆症検診 検査後の対応(2)

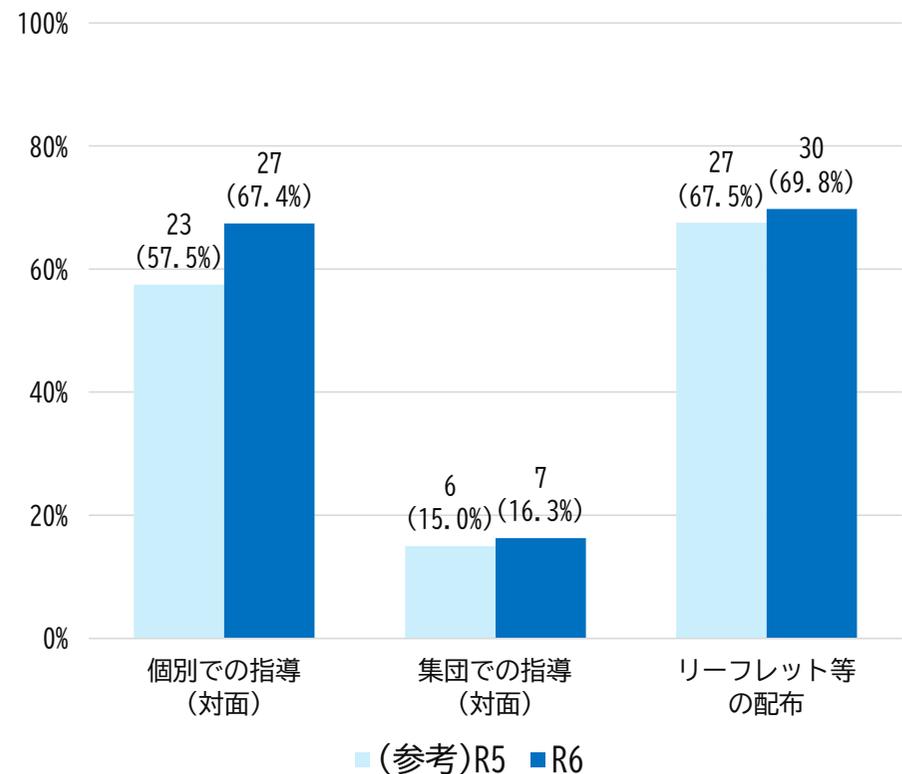
設問:3.(2) 【測定結果が「要精検」】

- 「検診」を実施している38市町村のうち、精密検査の受診勧奨をしているのは86.9%であった。
 - 精検受診勧奨未実施と回答した市町村の多くが、医療機関・検診機関へ委託し骨粗鬆症検診を実施。
 - 受診勧奨をしている市町村のうち、受療確認を実施しているのは81.8%であった。
- まずは、骨粗鬆症検診を受けてくれた人へ必要な対応(精検を受ける)が行き届くようにすることが重要。
- 精検の受診勧奨を受けた人の中で、どれくらいの人が精検受診につながったか、精検受診率を上げていくことも必要。

骨粗鬆症検診 保健指導

設問:3.(2),4)

- 保健指導の方法として、リーフレット等の配布が7割弱で最も多い。
- 次いで対面での個別指導が7割弱と前回より増加。



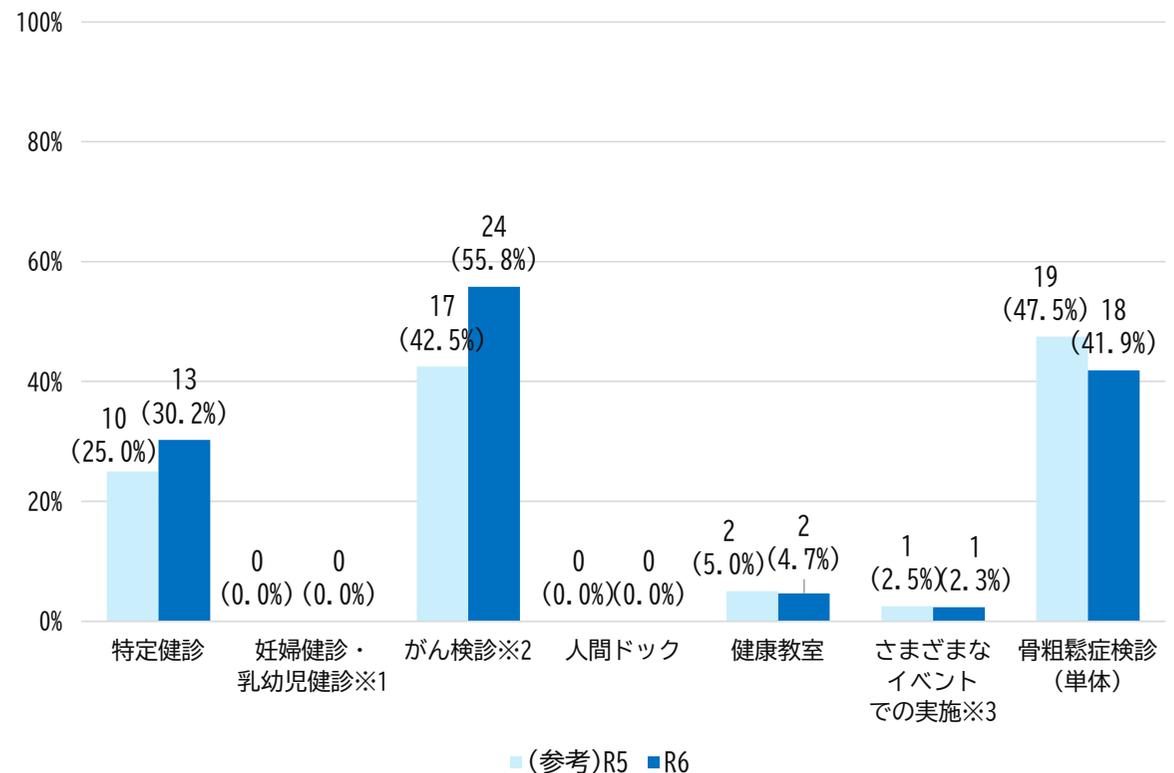
(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；40市町村)

骨粗鬆症検診 実施の場

設問: 4.(1)

- 前回は骨粗鬆症検診を単体で実施している市町村が半数程度と最も多かったが、今回はがん検診※1での実施が多い。

- ※1 R5年度状況では「妊婦健診」、「4か月児健診」、「1歳6か月児健診」、「3歳児健診」をそれぞれについて質問を設定し、いずれかで実施している市町村を「妊婦・乳幼児健診での実施あり」とした。
- ※2 R5年度状況では「がん検診(複数のセット検診)」、「子宮頸がん検診」、「子宮体がん検診」、「乳がん検診」をそれぞれについて質問を設定し、いずれかで実施している市町村を「がん検診での実施あり」とした。
- ※3 R5年度状況では「市町村開催の健康イベント」、「民間企業等との共催のイベント」をそれぞれ質問を設定し、いずれかを実施している市町村を「イベントでの実施あり」とした。



(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；40市町村)

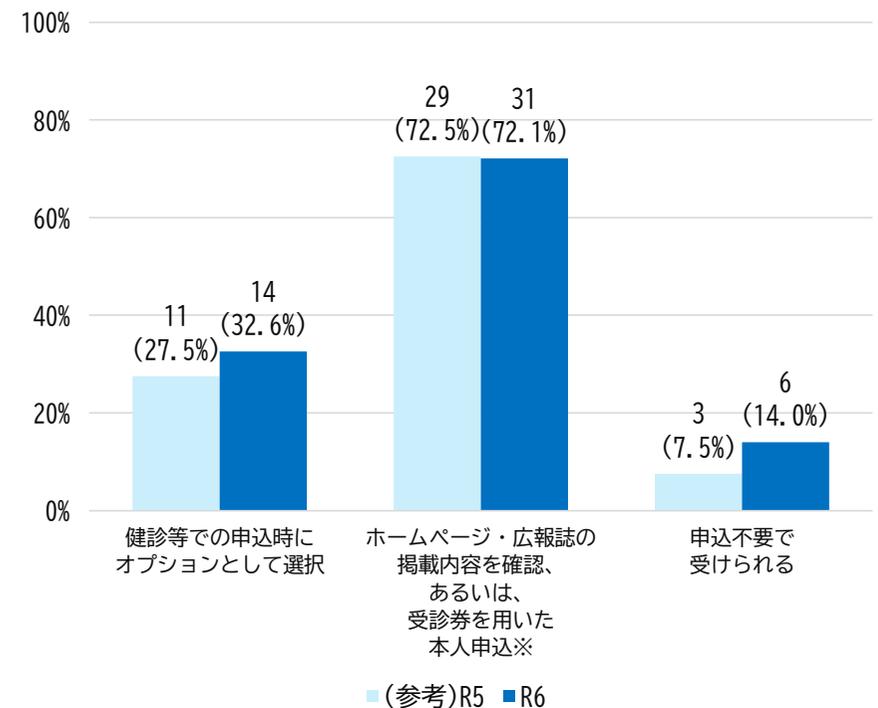
骨粗鬆症検診 申込方法

設問:4.(2)

- 受診者本人が自ら申し込む体制が7割弱と最も多く、前回と変わらず。
- 健診等を受ける際にオプションとして選択できるようになっているのが3割程度、申込不要で受けられる体制も14%と、前回よりやや増加。

➤受診しやすい体制整備の検討が必要
(ナッジの活用)

例えば、骨粗鬆症検診を受ける、という選択をしてもらう（オプトイン）より、他の健診・検診にセットするなど、選択しなくても良い（オプトアウト）体制にする。



※ R5年度状況では「ホームページまたは広報誌へ掲載し、本人申込」、「受診券を用いた本人申込」とそれぞれについて質問を設定し、R6年度の状況把握では、いずれかで実施している市町村を「本人申込」とした。

(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；40市町村)

骨粗鬆症検診 実施体制/医師会との連携

設問: 4.(3),(4)

【実施体制】 ※質問の設定が異なる

- 担当部署は8割程度の市町村が直営であった。
- 測定等の直接的な実施では、市町村直営での実施が25.6%、委託先の実施が60.5%であった。

【医師会との連携】

- 「検診」の委託実施は2割程度であった。
- 要精検のフォロー依頼、紹介状発行後の結果の返戻についてはそれぞれ4割程度の市町村が実施。
- 実施体制、医師会との連携いずれも、前回から傾向は変わらず。

(分母: 43市町村)

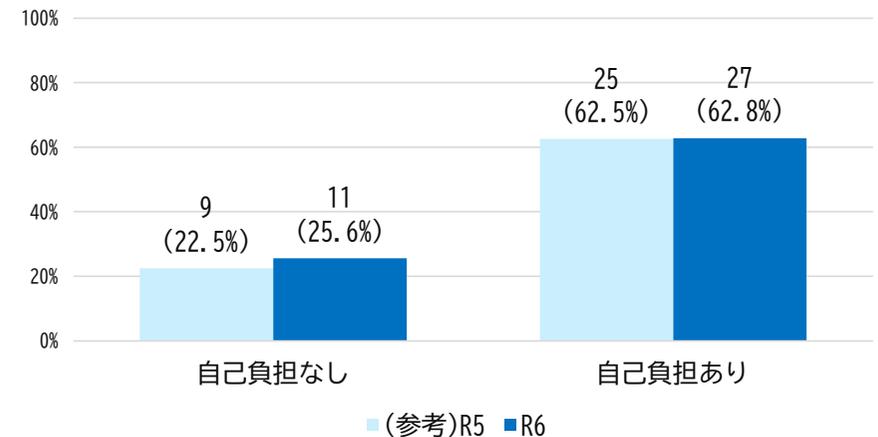
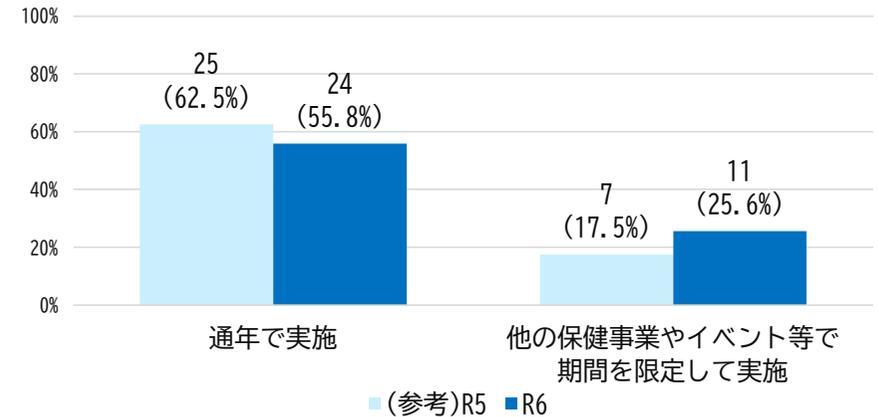
骨粗鬆症検診 実施時期/費用

設問:4.(5) 【実施時期】

- 6割弱が通年で受けられる体制。
- 2割程度の市町村では、他の事業とあわせて実施することから、検診を受けられる期間が限定される。

設問:4.(6) 【費用(自己負担)】

- 3割弱が自己負担なし、6割程度が自己負担ありで「検診」を実施。
- 時期、費用ともに前回の傾向と大きな変化はない。



(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；40市町村)

骨粗鬆症検診 事後/取組内容の詳細

設問:5.(1)

- 9割弱の市町村が測定結果の管理を自治体の健康管理システムへの入力で管理している。(「検診」を実施している市町村では100%)
- 5割弱の市町村では結果票の控えを保管している。
- 一部の市町村で、フォローシートの作成、結果のExcelでの保管をしている。

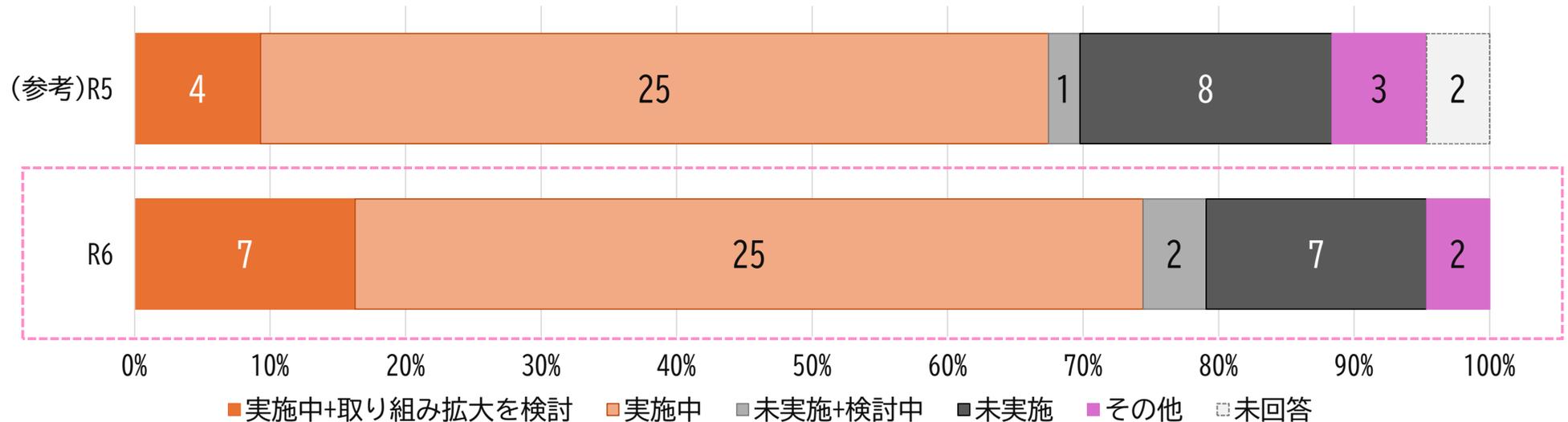
設問:5.(2), 6.(1),(2) 自由回答

- 事業評価について回答があったのは25市町村(58.1%)
- アピールポイントの回答があったのは11市町村(25.6%)
- 課題について回答があったのは17市町村(39.5%)

骨密度測定 実施状況

- 健康増進計画の指標としている→9(20.9%) 設問:7.(1)① ※単一回答

- 7割程度の市町村が骨密度測定を実施している。 設問:7.(2) ※単一回答

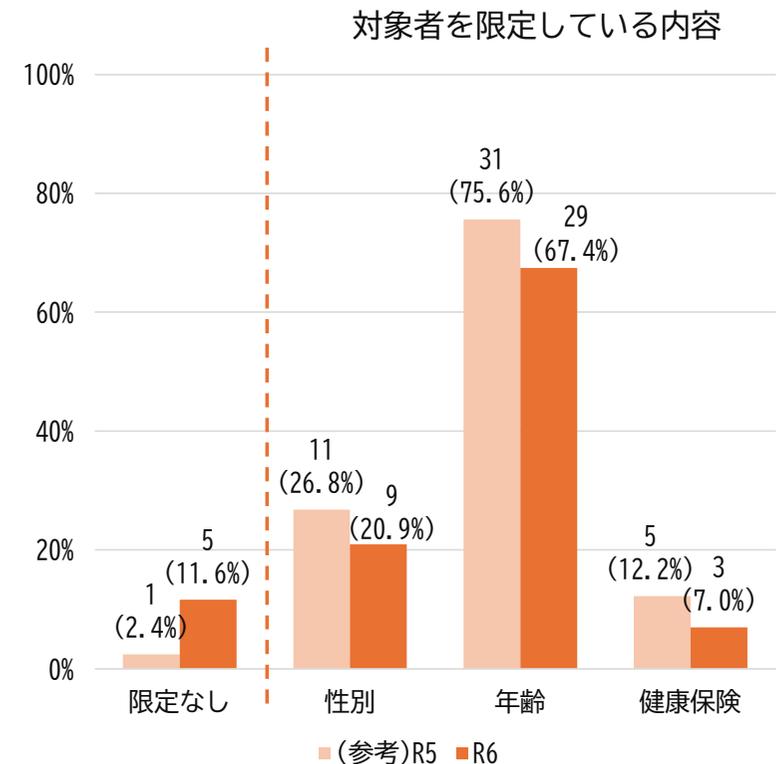


(分母 : 43市町村)

骨密度測定 測定対象

設問:8.(1)

- 対象を限定せず、住民全員を対象としているのは**5市町村(11.6%)**で、**前回(1市町村;2.4%)より増加**
- 年齢を設定;7割程度
- 性別(女性)を限定;2割
- 健康保険(国保加入者)を限定;1割弱



(分母: R6年度調査; 43市町村 / R5年度調査; 41市町村)

骨密度測定 受診勧奨、普及・啓発

設問:8.(2)

- 「検診」以外でも、個別の受診勧奨をしているところはあるが、多くがホームページや広報誌などでの案内(広報)をしており、7割程度となっている。
- 前回から取組状況の大きな変化はない。

骨密度測定 測定後の対応

設問:9.(1) ※単一回答 設問:9.(2)

- 測定結果の区分の提示は、「検診」では9割ちかくの市町村が実施しているが、「測定」では7割弱であり、一部の市町村では区分を示さない・していない。
- 翌年度の受診勧奨や保健指導の実施状況は「検診」と「測定」で大きな差はないが、**要精検者への精検受診勧奨や受療確認を実施している割合は「検診」より低い。**
- 保健指導の方法についても、「検診」と「測定」で実施状況に大きな差はない。
- いずれの取組項目も前回と今回で大きな変化はない。

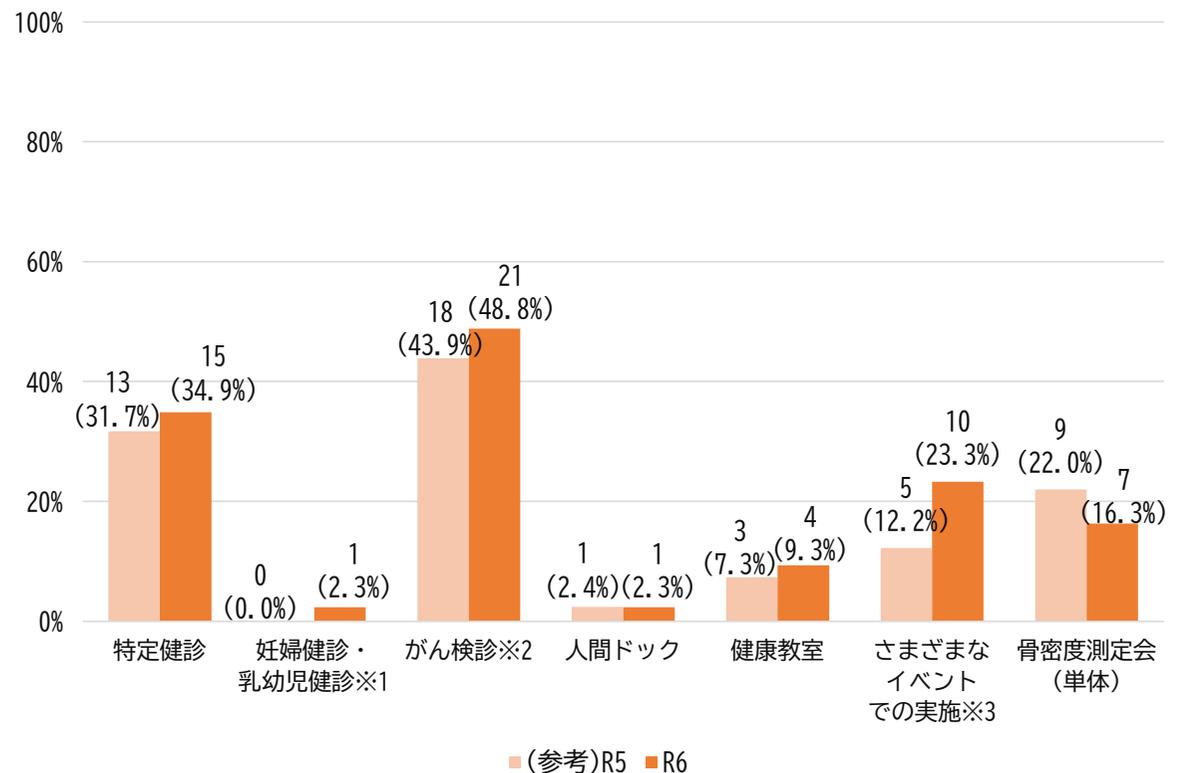
(分母：43市町村)

骨密度測定 実施の場

設問:10.(1)

- がん検診や特定健診の場で骨密度測定を行う市町村が3,4割。
- イベントでの実施は2割程度であるものの、前回よりも増加。

- ※1 R5年度状況では「妊婦健診」、「4か月児健診」、「1歳6か月児健診」、「3歳児健診」をそれぞれについて質問を設定し、いずれかで実施している市町村を「妊婦・乳幼児健診での実施あり」とした。
- ※2 R5年度状況では「がん検診(複数のセット検診)」、「子宮頸がん検診」、「子宮体がん検診」、「乳がん検診」をそれぞれについて質問を設定し、いずれかで実施している市町村を「がん検診での実施あり」とした。
- ※3 R5年度状況では「市町村開催の健康イベント」、「民間企業等との共催のイベント」をそれぞれ質問を設定し、いずれかを実施している市町村を「イベントでの実施あり」とした。



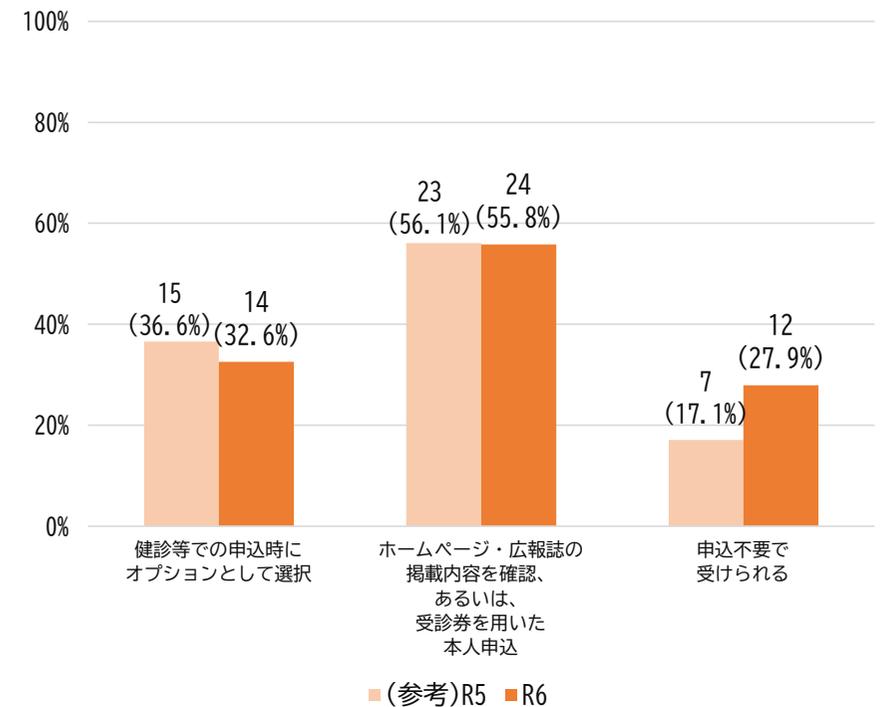
(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；41市町村)

骨密度測定 申込方法

設問:10.(2)

- 申込不要で受けられる体制も3割弱で、前回よりやや増加。

(「骨粗鬆症検診 申込方法」参照)



※ R5年度状況では「ホームページまたは広報誌へ掲載し、本人申込」、「受診券を用いた本人申込」とそれぞれについて質問を設定し、R6年度の状況把握では、いずれかで実施している市町村を「本人申込」とした。

(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；41市町村)

骨密度測定 実施体制/医師会との連携

設問:10.(3),(4)

【実施体制】 ※質問の設定が異なる

- 担当部署は7割程度の市町村が直営であった。
- 測定等の直接的な実施では、市町村直営での実施が2割程度、委託先の実施が半数程度となっている。

【医師会との連携】

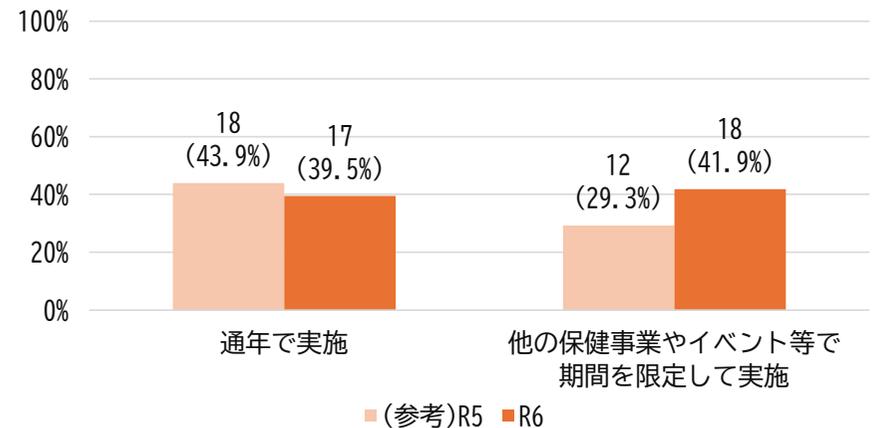
- 「測定」の委託実施は1割程度。
- 要精検のフォロー依頼は3割程度、紹介状発行後の結果の返戻は25%の市町村が実施。
- 実施体制、医師会との連携いずれも、前回から大きな変化はない。

(分母: 43市町村)

骨密度測定 実施時期/費用

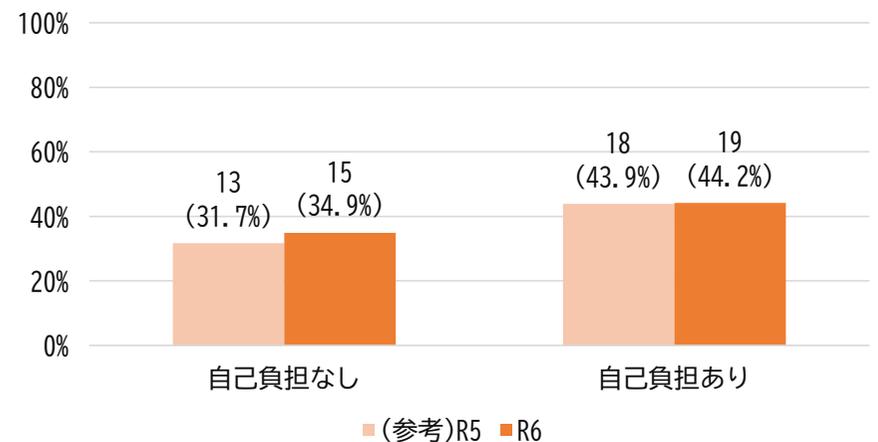
設問:10.(5) 【実施時期】

- 通年で受けられる体制の市町村の割合はあまり変化がない。
- 期間を限定して実施している割合はやや増加。



設問:10.(6) 【費用(自己負担)】

- 前回から取組状況の変化はない。



(分母：R6年度調査；43市町村／R5年度調査；41市町村)

骨密度測定 事後/取組内容の詳細

設問:11.(1)

- 9割弱の市町村で、測定結果を自治体の健康管理システムへの入力で管理している。
- 5割弱の市町村では結果票の控えを保管している。

設問:11.(2), 12.(1),(2) 自由回答 / 設問:12.(3)

- 事業評価について回答があったのは22市町村(51.2%)
- アピールポイントの回答があったのは10市町村(23.3%)
- 課題について回答があったのは13市町村(30.2%)
- 測定の実施件数の把握はほとんどの市町村で実施されているが、一部では未把握のところもある。

まとめ(1)

- 骨粗鬆症検診・骨密度測定を実施していない市町村があるが、実施市町村は増加している。
- 取組状況の割合に大きな変化はないものの、取組みを開始する市町村がいくつかある。また、実施に向けて検討している市町村もあり、骨粗鬆症対策は大阪府全体で前進している状況と考える。

まとめ(2)

- 「検診」と「測定」で取組状況の傾向に差があり、骨粗鬆症対策の推進に向け、他の事業等との優先度も踏まえた効果的な取組みの検討が必要である。

「検診」と「測定」の取組みの差

- ほとんどの取組内容について「検診」の方が「測定」よりも取り組む市町村の割合は高い。
- 「イベントでの実施」、「申込不要で受けられる」、「自己負担なし」については、「測定」の方が取り組む市町村の割合は高い。

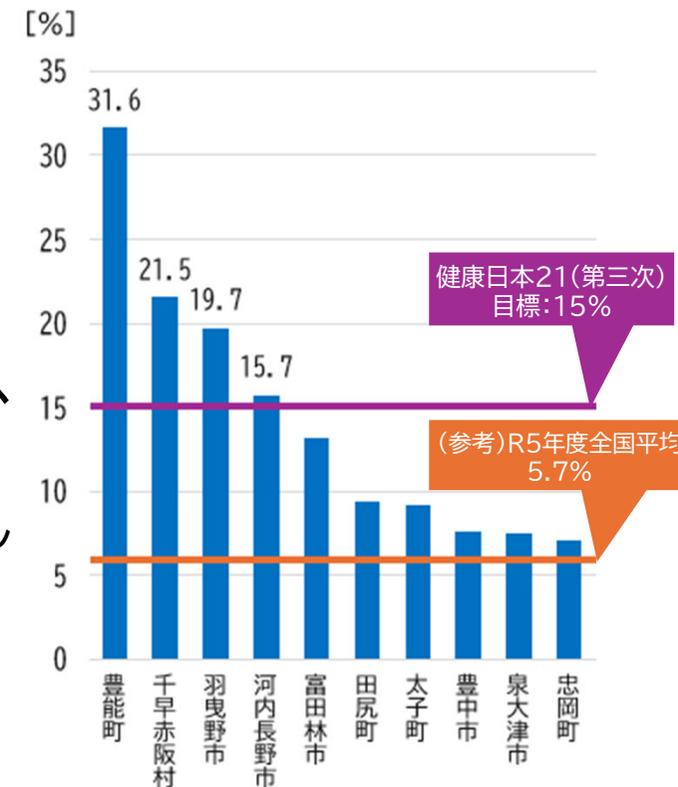
検診受診率と取組状況の比較(1)

骨粗鬆症検診受診率上位市町村とそれ以外で、取り組みの割合を比較した。

➤上位10市町村：豊能町、千早赤阪村、羽曳野市、河内長野市、富田林市、田尻町、太子町、豊中市、泉大津市、忠岡町

※全国平均5.7%(R5年度)を超えている市町村を上位として選定した。また、下線の市町村は目標15%を超えている。

➤上位以外；28市町村（骨粗鬆症検診未実施の5市町村を除く）



検診受診率と取組状況の比較(2)

	上位 (n=10)	上位以外 (n=28)
個別の受診勧奨の実施あり	70.0%	35.7%
ホームページ・広報誌の掲載内容を確認あるいは 受診券を用いた本人申込	50.0%	92.9%
申込不要で受けられる	30.0%	10.7%
通年で検診を実施	70.0%	60.7%
期間を限定して実施	20.0%	32.1%
検診費用の自己負担なし	40.0%	25.0%

先行事例

- 「骨粗鬆症検診を実施している自治体の実地調査」より
 - 骨粗鬆症検診を単独で考えるのではなく、他の検診と連携して包括的に実施
 - 検診受診の金銭的負担の軽減（無償化）
 - 骨粗鬆症検診の方法・流れの標準化
- 愛知県名古屋市の取組みより
 - 検診の自己負担なし
 - 対象年齢の女性へ無料クーポン券を送付
 - 協力医療機関での検診ご案内ポスターの掲示
 - 骨粗鬆症検診はじめ、がん検診等各種検診を名古屋市医師会に委託しており、800以上の会員医療機関が市の骨粗鬆症検診の協力要請に承諾いただいていることから、受診者個人が日時・医療機関を自由に選択できる。

※ 11/28研修会時点より一部修正あり

大阪府内の個別事例 [アピールポイントや取組内容より]

- 吹田市 … 検診協力医療機関が多く、受診しやすい。
- 羽曳野市 … 今後医師会との連携をさらに図り、検診実施医療機関の拡大を目指す。
- 富田林市 …
 - かかりつけ医のところで特定健診や大腸がん検診と同時に受けることができる。
 - 市内実施医療機関が多い。
- 大阪狭山市 … 一部の対象年齢への個別の受診勧奨を開始し、**その対象年齢層の受診率が上昇傾向。**
- 茨木市 … 巡回子宮がん・乳がん検診の受診時にスギ薬局の協力のもと骨密度測定実施している。
- 泉佐野市 …
 - 健康イベント時に他課や企業の協賛で実施している。
 - 骨粗鬆症検診受診でインセンティブあり。（健康マイレージが500ポイント、貯めたポイントは泉佐野市の地域ポイントに交換して利用できる。）
- 大阪市 …
 - イベントでの骨粗鬆症検診の実施あり。
 - がん検診との同時実施、土日祝日の健康イベントにおける併設（予約不要）。

関係機関連携
(医師会・医療機関)

既存事業を活用した検診機会の設定

個別の受診勧奨

既存事業を活用した検診機会の設定

関係機関連携
(地域、職域、産学官)

モデル実施のご紹介で

アスマイルの活用

- 骨粗鬆症検診を受診したらポイント付与

けんしん記録メニュー

2024年度

- ※ 受診日・受診機関は一度登録すると、回答内容の確認・修正はできません。
- ※ 医療保険者（市町村国民健康保険）から提供を受けた健診データは修正できません。
- ※ がん検診は健診（事業所健診、人間ドック等）の中で受診したものも含みます。

特定健診・事業所健診・人間ドック・後期高齢者健診・若年者健診・学校健診・その他の健診

受診日・健診結果を入力する

骨粗しょう症検診

受診日 **必須**

受診機関 **必須**

例：〇〇病院・職場で受診 など

登録

モデル市町村における 事業の進捗の紹介

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)案 の実施予定内容と各年度スケジュール

令和6年度～令和8年度の3か年度で、「現状把握」、「効果的な取り組み推進につながるプログラムの検討」、「プログラムの提案、実施の推進と、取り組みの効果検証」を行う。

〔R6年度〕

- 市町村の取り組みについての現状を把握する。プログラム案を作成し、提示する。

〔R7年度〕

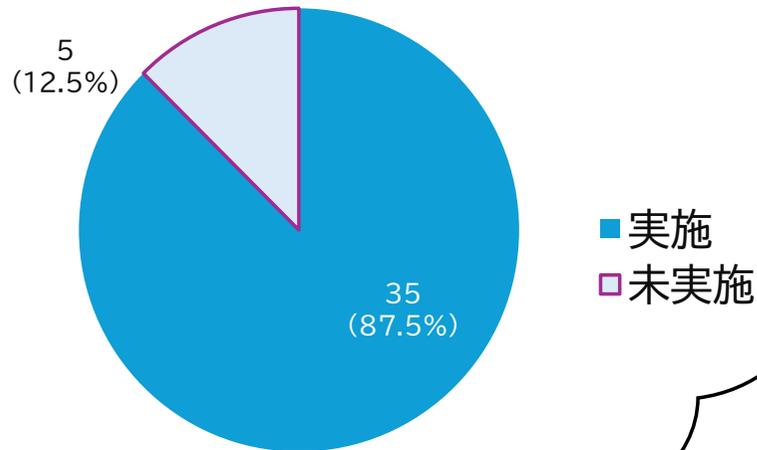
- モデル市町村を選定。
- プログラム案をモデル的に実施し、効果測定を行う。

〔R8年度〕

- R6～7年度の取り組みを踏まえ、プログラムをとりまとめる。

モデル市町村を考えるにあたり…

令和5年度 骨粗鬆症検診実施状況
(大阪府内40市町村)



- 骨粗鬆症検診を未実施の市町村で行う？
- 骨粗鬆症対策での課題を感じている市町村と一緒に？

…市町村側の負担が大きい

すでに実施しており、既存事業の活用ができ、骨粗鬆症対策の実施の進展ができることを目的としてモデル実施を行う



大阪市に、モデル実施の協力をお願いしました。



お知らせ

SMSによるご

過去に本市乳がん検診が
女性及び50歳代女性
にお勧めしています
(対象者)

大阪市骨粗しょう症検診について

検診内容

定量的超音波測定法 (QUS法)



- 超音波を使って、かかとの骨量を測定します。
- 自分の骨の状態を知ることにより、骨粗しょう症の予防や治療に役立てることができます。
- 検査は数分程度で、結果は当日にお渡しします。



大阪市より伺った状況

- 健康寿命の延伸のため、要介護の要因となる骨粗鬆症対策の必要性を感じている。
(女性の要介護の原因第1位)
- 骨粗鬆症検診は各区保健福祉センターで実施し、個別の医療機関では実施していない。
- 骨粗鬆症の要精検者の受診勧奨等に課題がある。
- 10/20の世界骨粗鬆症デーでの啓発 (ライトアップなど) を実施している。

大阪市 - 骨粗しょう症検診を受けましょう

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000026192.html> (2025/11/12閲覧)

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)案の効果測定

- 骨粗鬆症対策に関し、すでにさまざまな方法で事業に取り組まれていたため、主に「**事業評価**」の面で、大阪市でのモデル実施をさせていただくことになりました。

- 市の骨粗鬆症対策の取組みと骨粗鬆症検診の受診率など

- モデル実施にて、プログラム(案)の効果測定を行うことを目的としています。

大阪市モデル実施 - 内容

(1) 要精検・要治療者への受診・受療勧奨

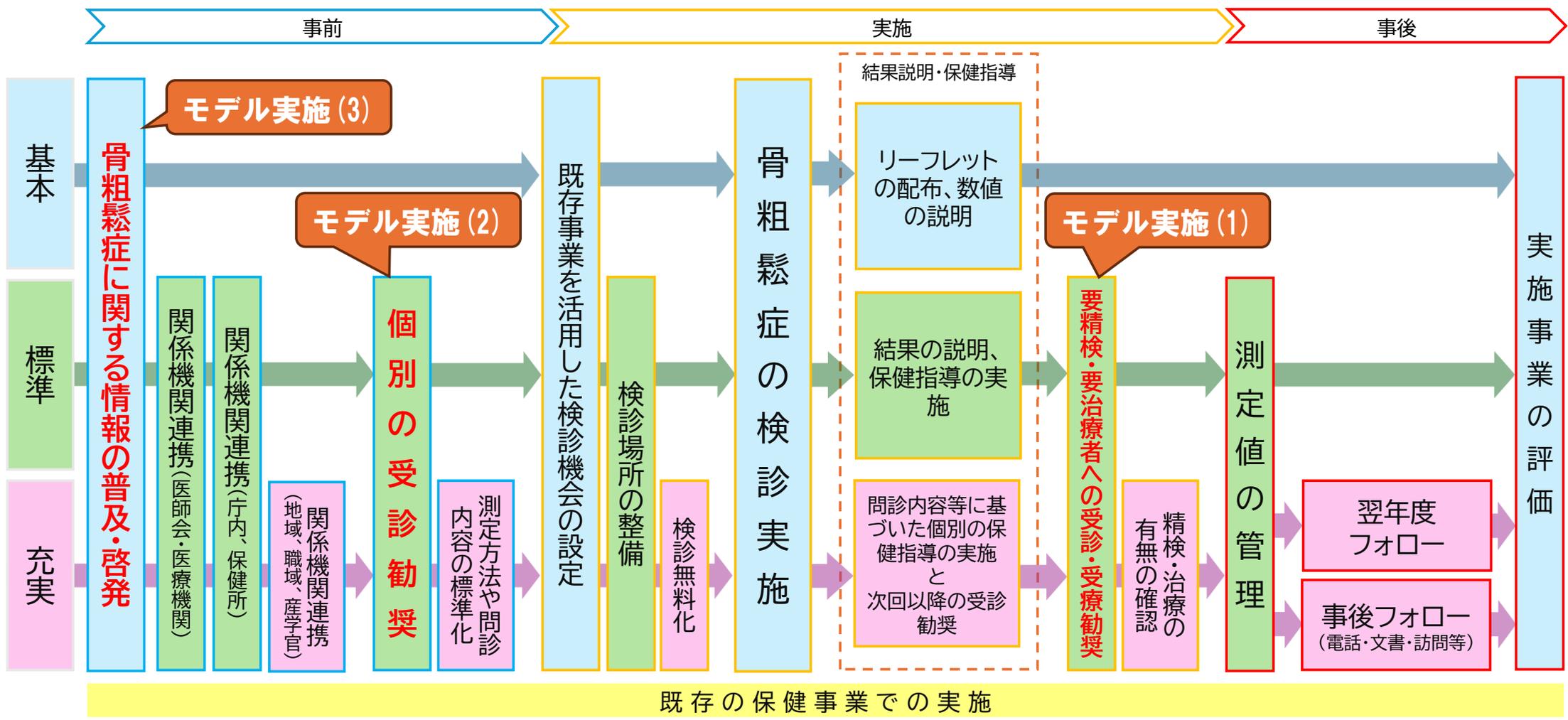
要精検者への精検受診再勧奨として、通知文書の更新。更新内容について、大阪市と大安研とで検討。

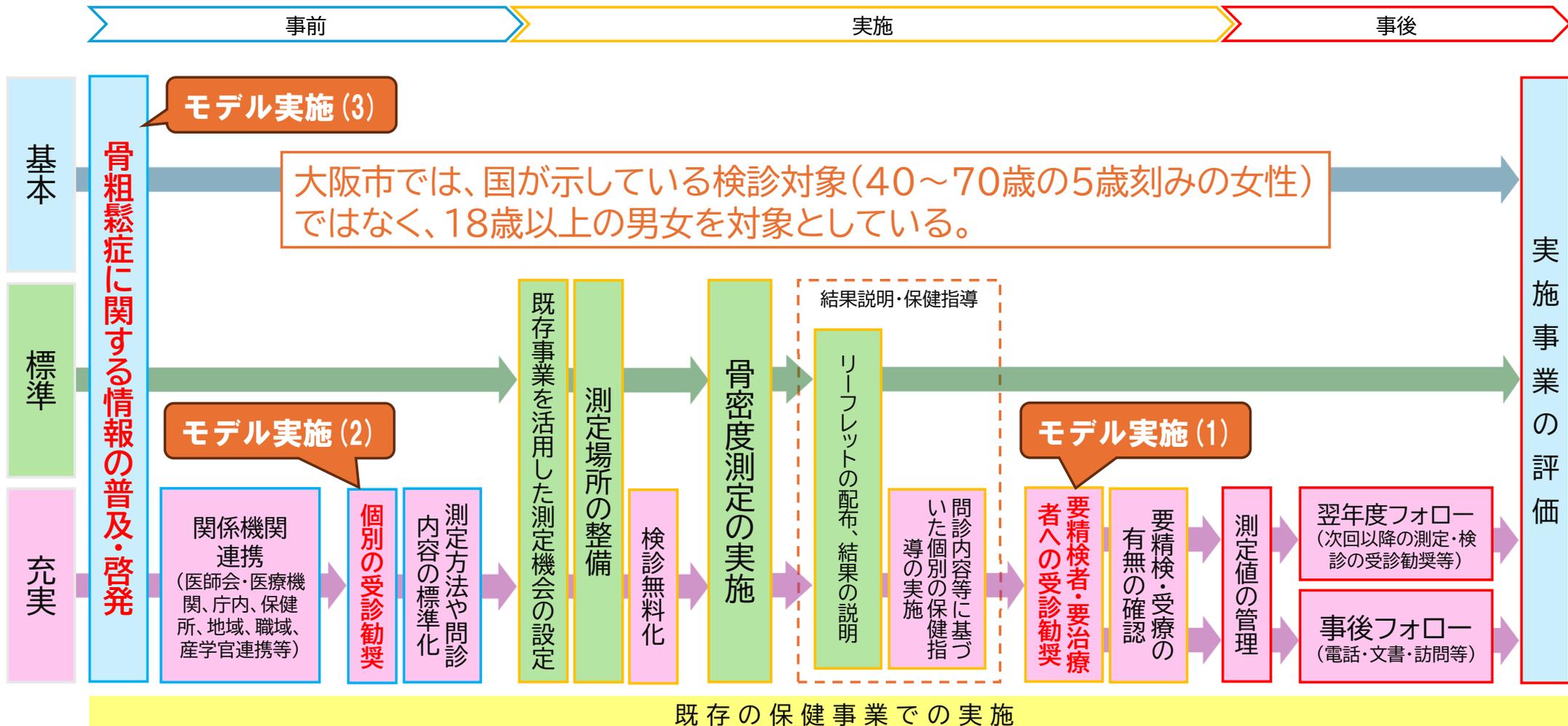
(2) 個別の受診勧奨

SMSによる骨粗鬆症検診の受診勧奨を実施。SMSの文面を大阪市・大安研とで検討した。既存の事業の活用として、過去にがん検診を受診したことのある人を送信対象とした。

(3) 骨粗鬆症に関する情報の普及・啓発

新規啓発媒体（のぼり、ポスター）を大阪市が作成し、各保健福祉センターでの使用を行い、その効果を検証する。

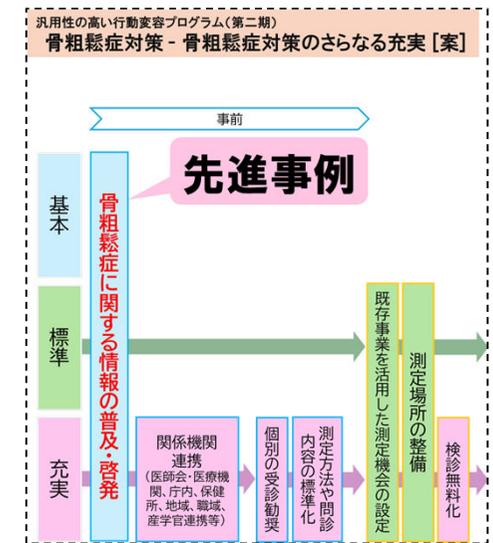
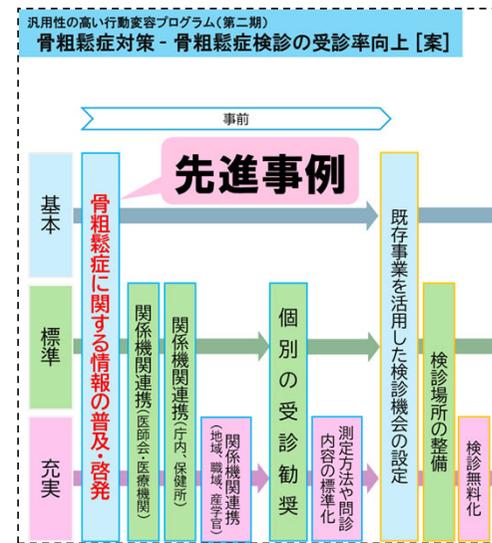




大阪市の取組み(先進事例)

骨粗鬆症に関する情報の普及・啓発

- ・ イベントで骨粗鬆症検診を実施しているのは、大阪府内では大阪市のみである。



⇒モデル実施、先進事例に関する詳細は、今後ご報告いたします。

大阪市の取組み(先進事例)

健康フェスタ
in イオンモール鶴見緑地
2025/10/5日
10:00～16:30

無料

ご予約はこちら

骨粗しょう症検診
時間 10:00～12:00 / 13:30～15:30
場所 3F サンシャインコート
定員 100名さま
予約優先 / 当日受診可能

健康チェック
①10:00～12:00 ②13:30～16:00
3F サンシャインコート 予約不要

骨粗しょう症検診
時間 10:00～12:00 / 13:30～15:30
場所 3F サンシャインコート
定員 100名さま
予約優先 / 当日受診可能

健康フェスタ
in イオンモール鶴見緑地
2025/10/5日
10:00～16:30

子ども
触れて笑って
ベビーマッサージ
時間 11:00～12:00 / 12:00～13:00
場所 4F トイザラス店内
定員 各回8組まで
予約方法 イオンモールアプリのキッズクラブにて
9/28(日)より開始

体験
スクエアステップ
時間 10:30～12:00 場所 3F サンシャインコート
モルック
時間 13:00～14:30 場所 3F サンシャインコート
たべやん缶バッジづくり
時間 10:00～16:30 場所 3F フードコート前
定員 先着100名さま
血管年齢測定・ベジチェック
時間 10:00～16:30 場所 3F フードコート前
骨活のススメ(骨粗しょう症啓発ブース)
時間 10:00～16:30 場所 3F サンシャインコート

**「たべやん」の
ミニクイズ大会・写真撮影**
時間 11:30～12:00 / 14:00～14:30
場所 3F サンシャインコート
クイズ全問正解でたべやんグッズプレゼント!

お問い合わせ先
大阪市健康局健康推進部健康づくり課
TEL 06-6208-9961

無料



ご予約はこちら

大阪市モデル実施 – 今後の予定

- R7年度の骨粗鬆症検診の受診率をR8年度以降に評価
- 骨粗鬆症対策の取組みを今後さらに進めるにあたっての課題等の検討
- 汎用性の高い行動変容プログラム(第二期・案)に対する意見を集約し、プログラムへ反映させ、最終版を開発

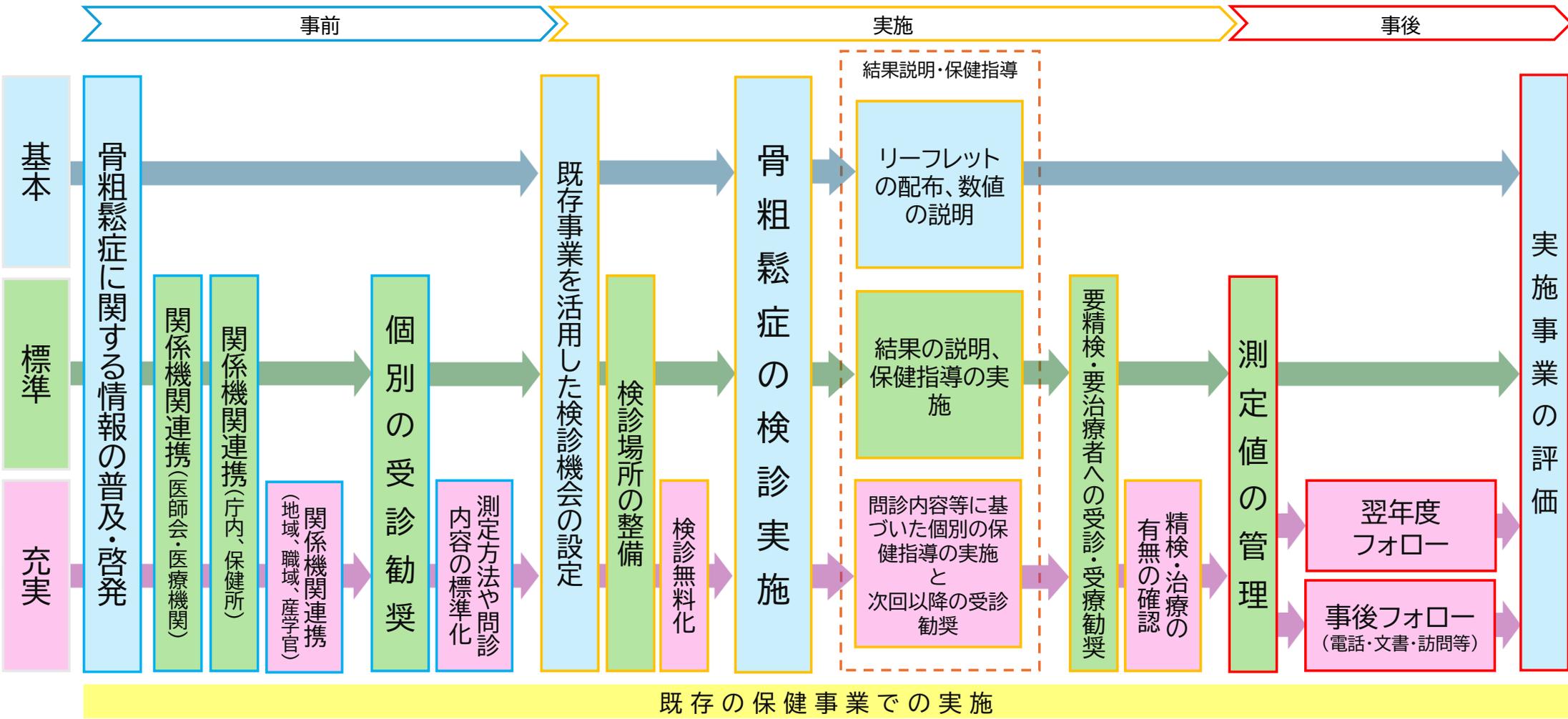


大阪市健康局の関係者の皆様、モデル実施にご協力くださり感謝申し上げます。
引き続き、今後の評価等に向け、どうぞよろしくお願いいたします。

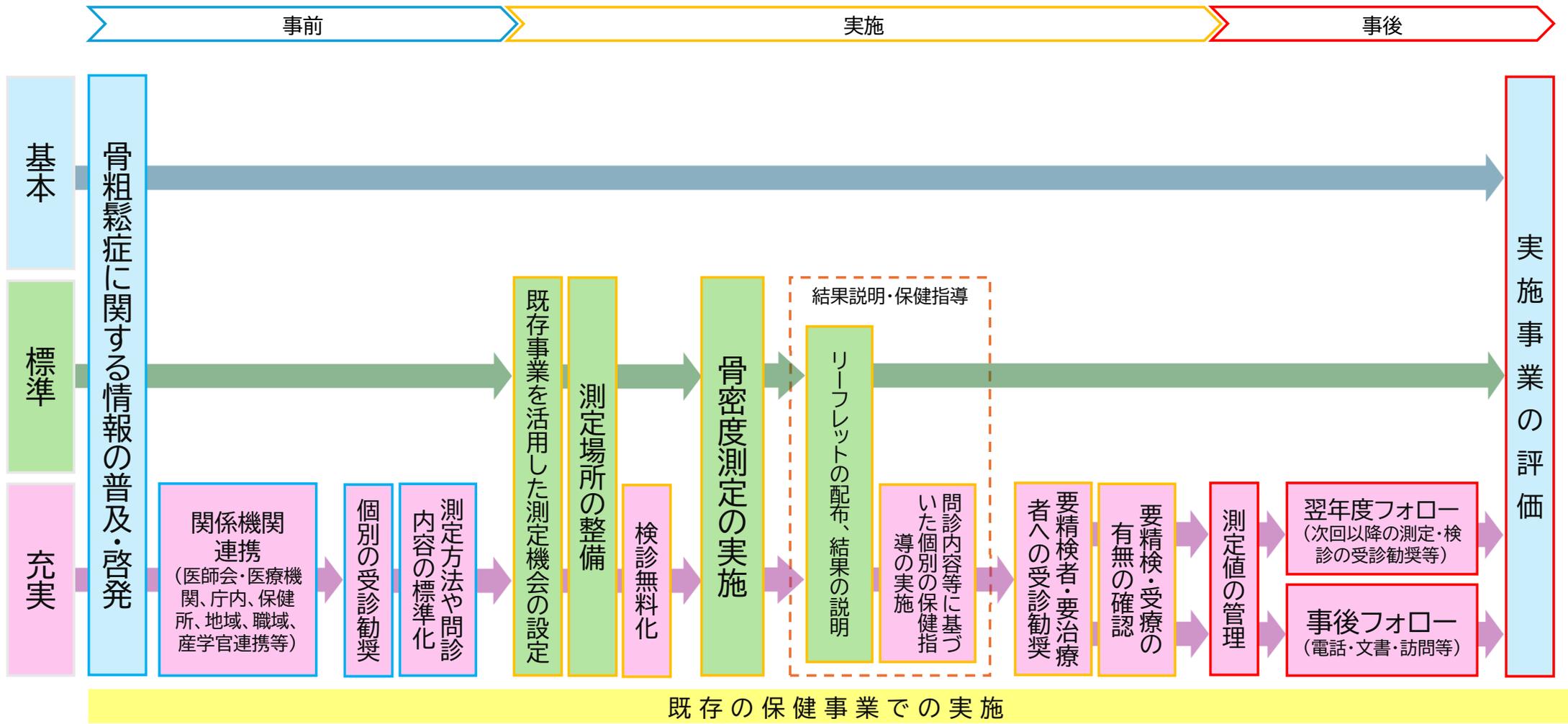


汎用性の高い行動変容プログラム 第二期(案) 紹介・修正予定内容

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症検診の受診率向上



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症対策のさらなる充実

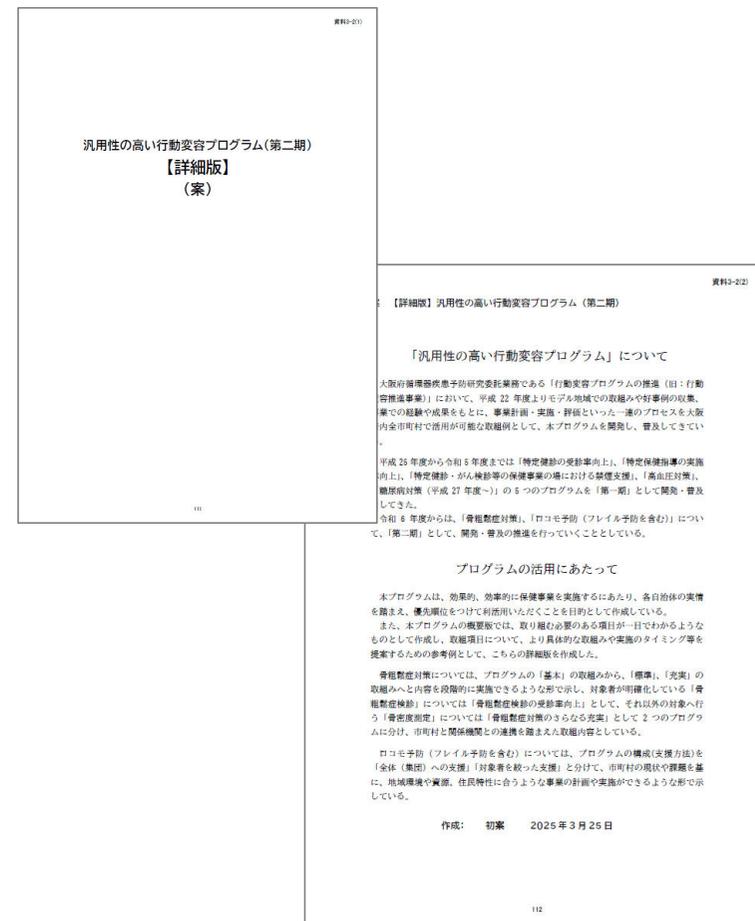


汎用性の高い行動変容プログラム(第二期・案)

• 骨粗鬆症対策

- ❑ 骨粗鬆症検診の受診率向上
- ❑ 骨粗鬆症対策のさらなる充実

⇒ 大阪市（モデル実施）、その他の市町村のご担当者様からお聞きした意見や各市町村の取組状況（アンケート調査結果）を元に、【詳細版】の記載を更新予定。



【報告】 市町村実態調査アンケートの結果

[ロコモ予防(フレイル予防を含む)の取組実態]

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

公衆衛生部 疫学解析研究課

佐々木 なぎさ

ロコモ予防(フレイル予防を含む) — 実態調査の報告

項目	内容
目的	大阪府内市町村の骨粗鬆症対策、ロコモ予防の取組状況の実態把握
対象	市町村健康増進事業担当課 (国民健康保険担当課等との調整による回答も含む)
調査名	【2025年度実施】R6年度_骨粗鬆症対策・ロコモ予防に関する取組実態把握の調査
期間	2025年7月15日～2025年8月8日
方法	<ul style="list-style-type: none">アンケート回答様式(Excelファイル)をメールに添付し、市町村担当課へ送信メールにて大阪健康安全基盤研究所疫学解析研究課へ提出
回答状況	府内全43市町村(回答率:100.0%)

実態調査の結果について

- 発表スライド

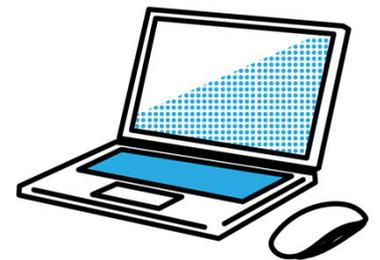
- 資料内容は、2025年9月末に集められた43市町村の回答の一部を紹介します
- 複数回答可 の設問結果を棒グラフ
複数回答不可の設問結果を円グラフ・積み上げ棒グラフにしました。
- グラフの数字は、「市町村数(割合)」または「市町村数」を意味します。

- 一部掲載している前年度(令和5年度分)のアンケート結果の詳細は、
大阪健康安全基盤研究所ホームページに掲載の報告書よりご覧ください。

【報告書掲載ページ】

<https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/report.epiana.html>

(令和6年度「行動変容プログラムの推進」報告書)

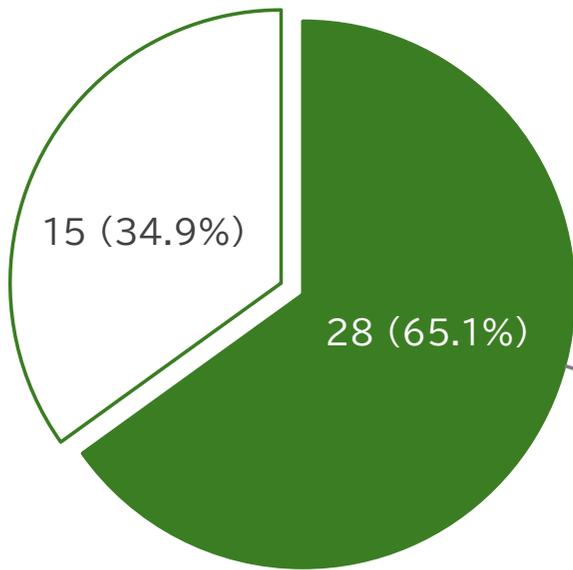


1. 住民全体への口コモ予防の普及・啓発

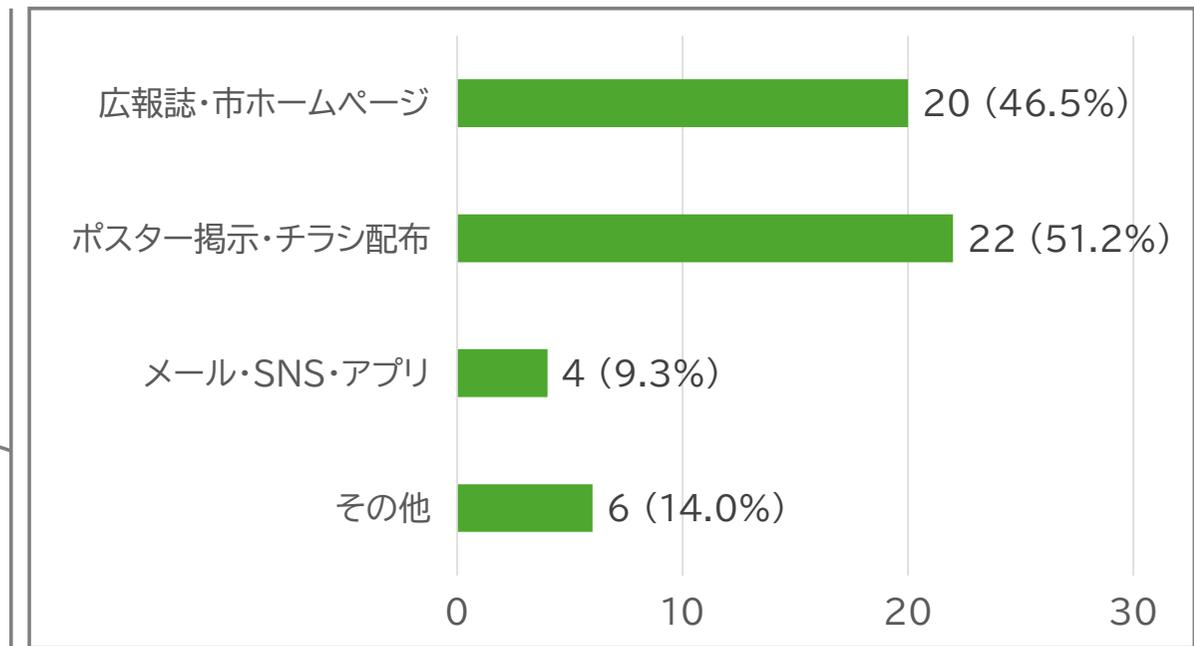
■実施ありと回答した市町村数は28(65.1%)。

方法は、『ポスター掲示・チラシ配布』、『広報誌・市ホームページ』の順が多い。

(割合の分母 43市町村)

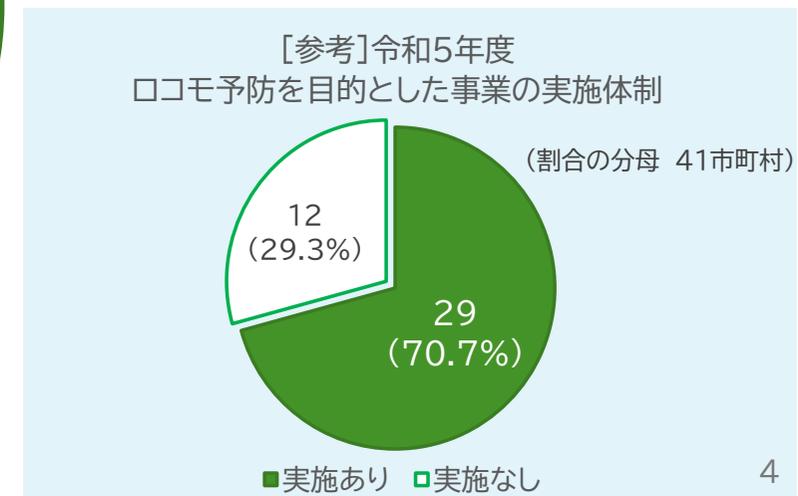
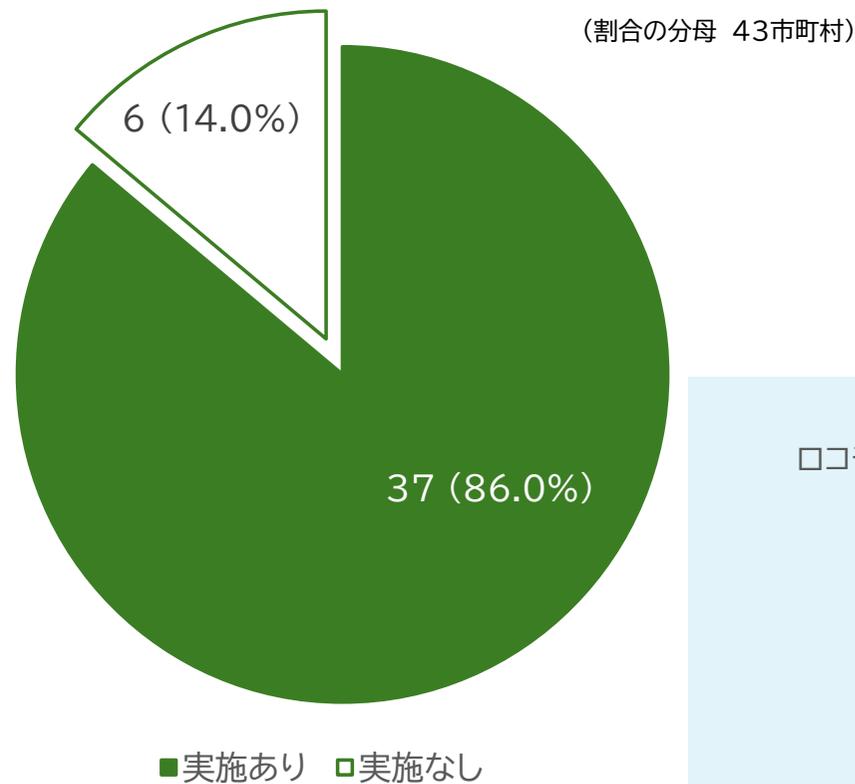


■住民全体への普及・啓発あり □住民全体への普及・啓発なし



2. ロコモ予防を目的とした事業の実施体制

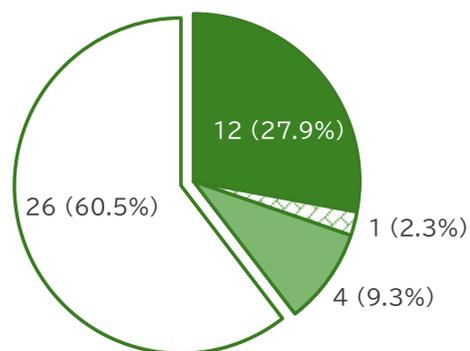
■事業実施ありと回答した市町村数は37(86.0%)。



2. ロコモ予防を目的とした事業の実施体制(事業別)

■「(2)介護予防事業での実施」が、実施市町村数と事業数ともに最も多い。

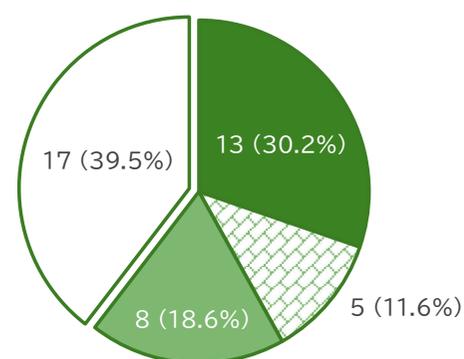
(1)健康増進事業での実施



■1つ ■2つ ■3つ以上 ■実施なし

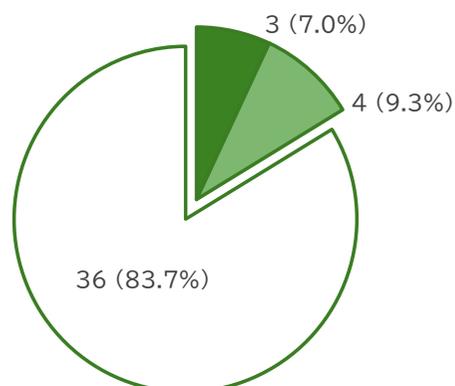
(2)介護予防事業での実施

(割合の分母 43市町村)



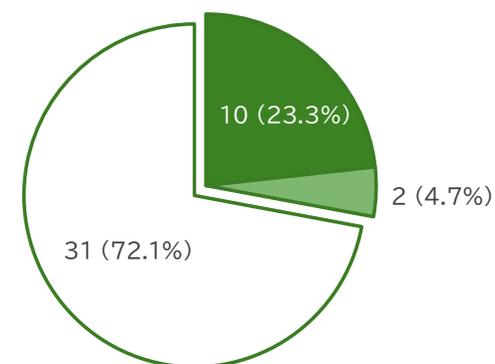
■1つ ■2つ ■3つ以上 ■実施なし

(3)健康増進事業と介護予防事業の両方



■1つ ■2つ ■3つ以上 ■実施なし

(4)その他の事業での実施



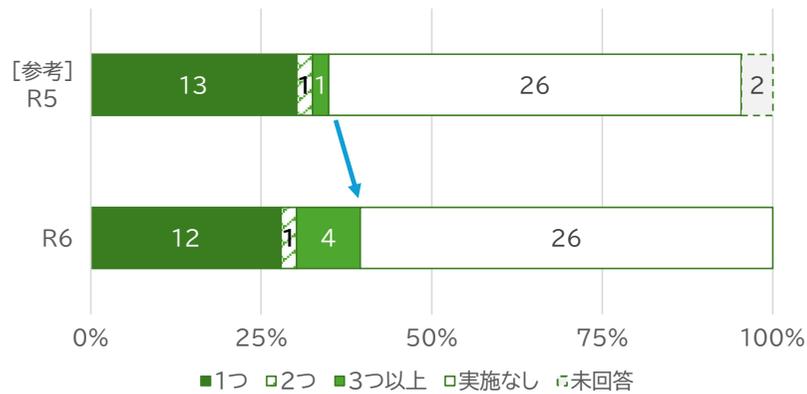
■1つ ■2つ ■3つ以上 ■実施なし

2. ロコモ予防を目的とした事業の実施体制(事業別)・前年度比較

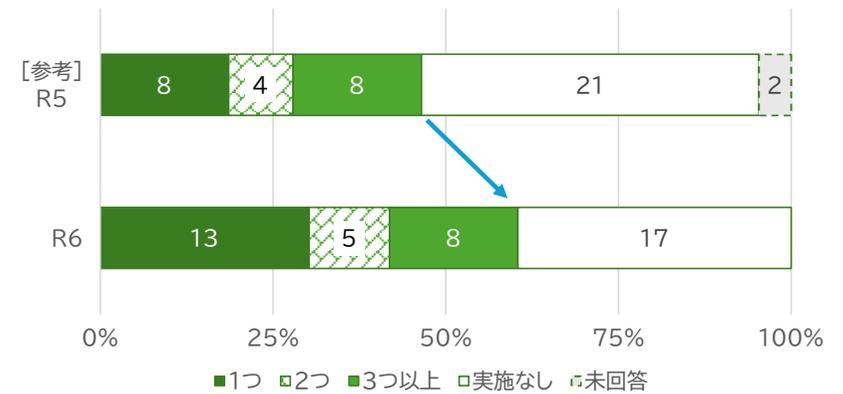
■前年度と比較すると、どの事業別においても実施している市町村数は増えた。

(回答 43市町村)

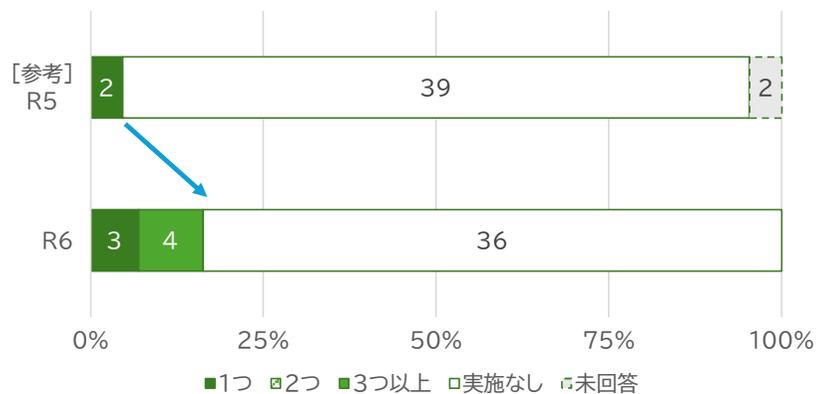
(1)健康増進事業での実施



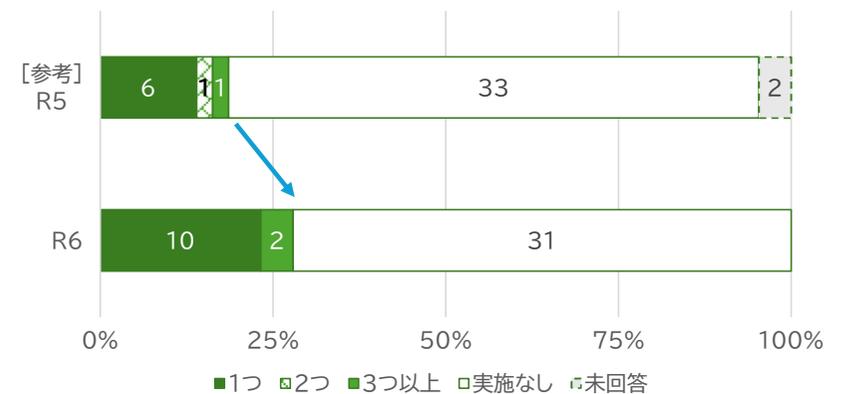
(2)介護予防事業での実施



(3)健康増進事業と介護予防事業の両方



(4)その他の事業での実施



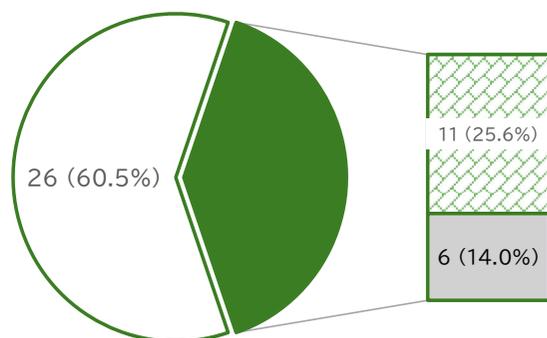
2. ロコモ予防を目的とした事業の実施体制(事業別)

—事業開始前と事業開始後の運動習慣の改善状況の把握

■「(2)介護予防事業での実施」で、事業前後の運動習慣の改善を把握している実施市町村数が最も多い。

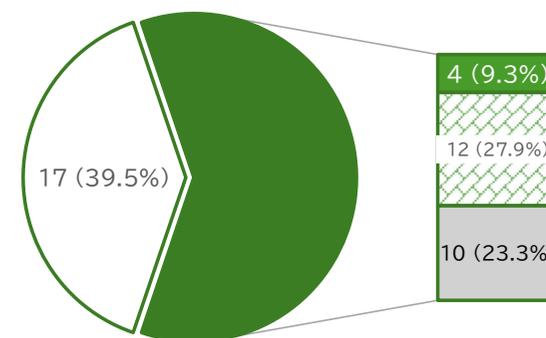
(割合の分母 43市町村)

(1)健康増進事業での実施



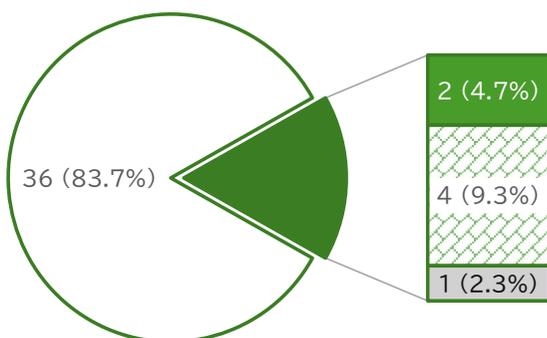
■実施なし ■変化の把握あり ■変化の把握をしているが人数不明 ■変化の把握なし

(2)介護予防事業での実施



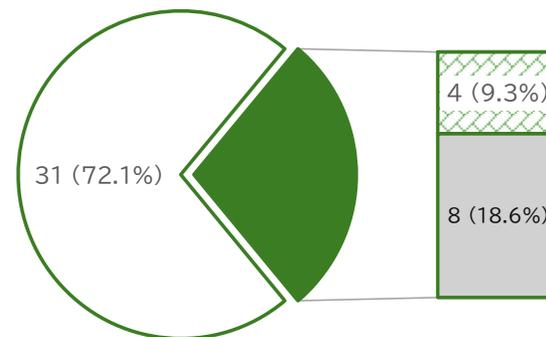
■実施なし ■変化の把握あり ■変化の把握をしているが人数不明 ■変化の把握なし

(3)健康増進事業と介護予防事業の両方



■実施なし ■変化の把握あり ■変化の把握をしているが人数不明 ■変化の把握なし

(4)その他の事業での実施

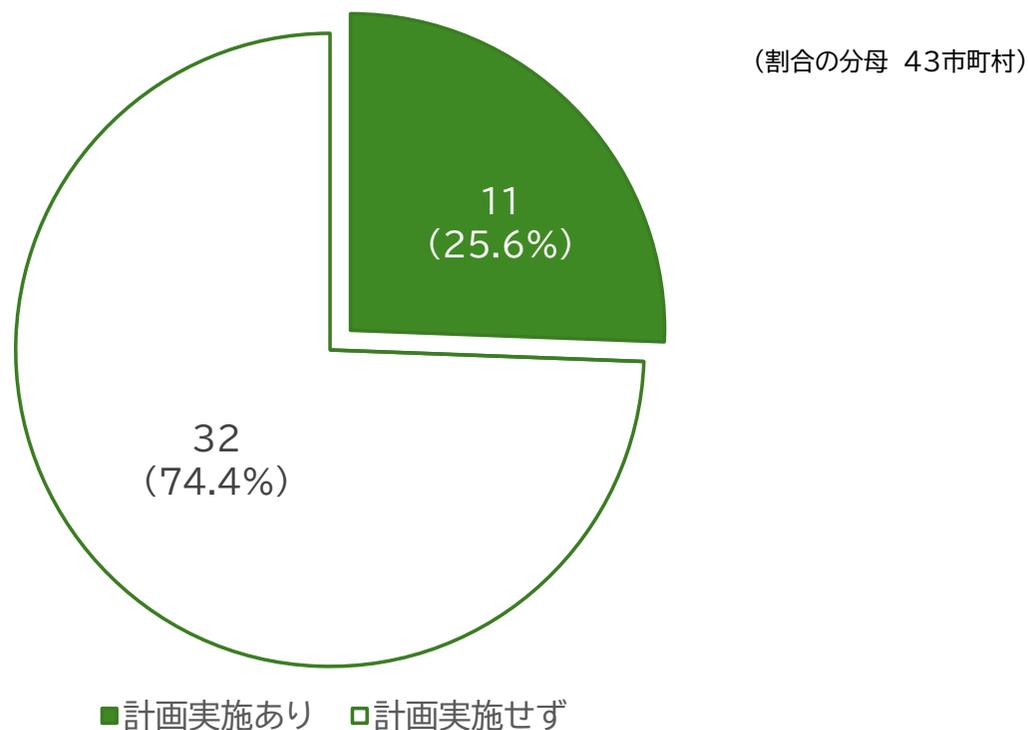


■実施なし ■変化の把握あり ■変化の把握をしているが人数不明 ■変化の把握なし

3. 各市町村でのロコモ予防事業について

—令和7年度 新規事業計画と実施

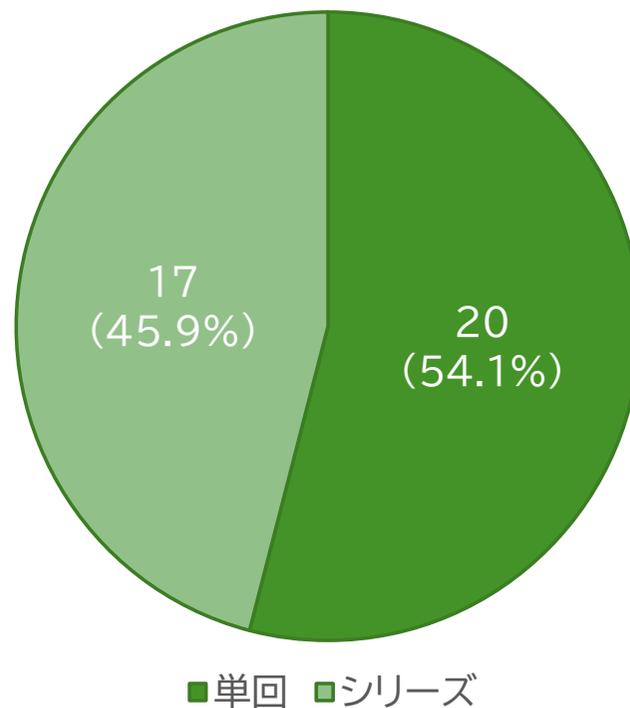
■ 令和7年度、新規事業の計画と実施をした市町村は11(25.6%)



4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事業開催の方法

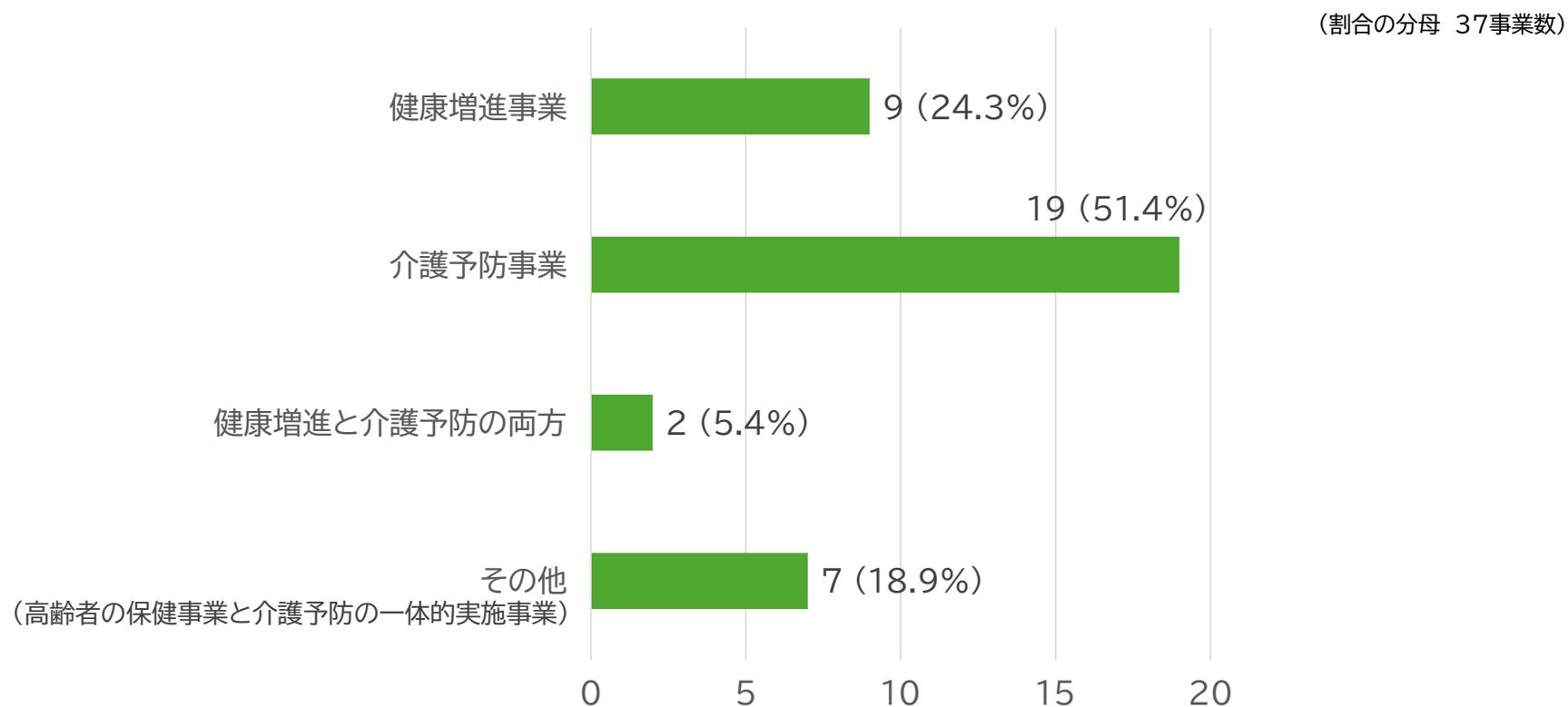
■ 単回で実施する事業が多い

(割合の分母 37事業数)



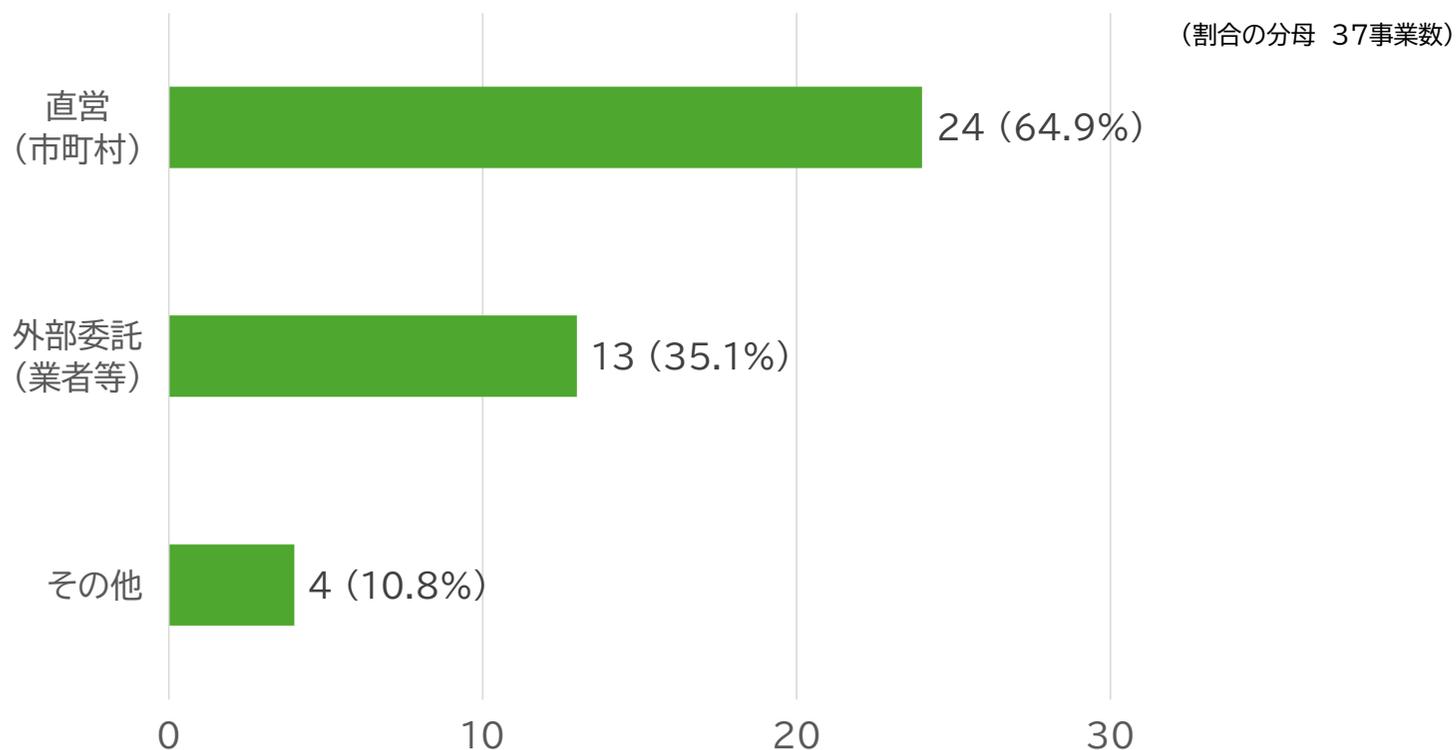
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —実施体制

■ 介護予防事業で実施した事業の回答が多い



4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事業実施関連機関

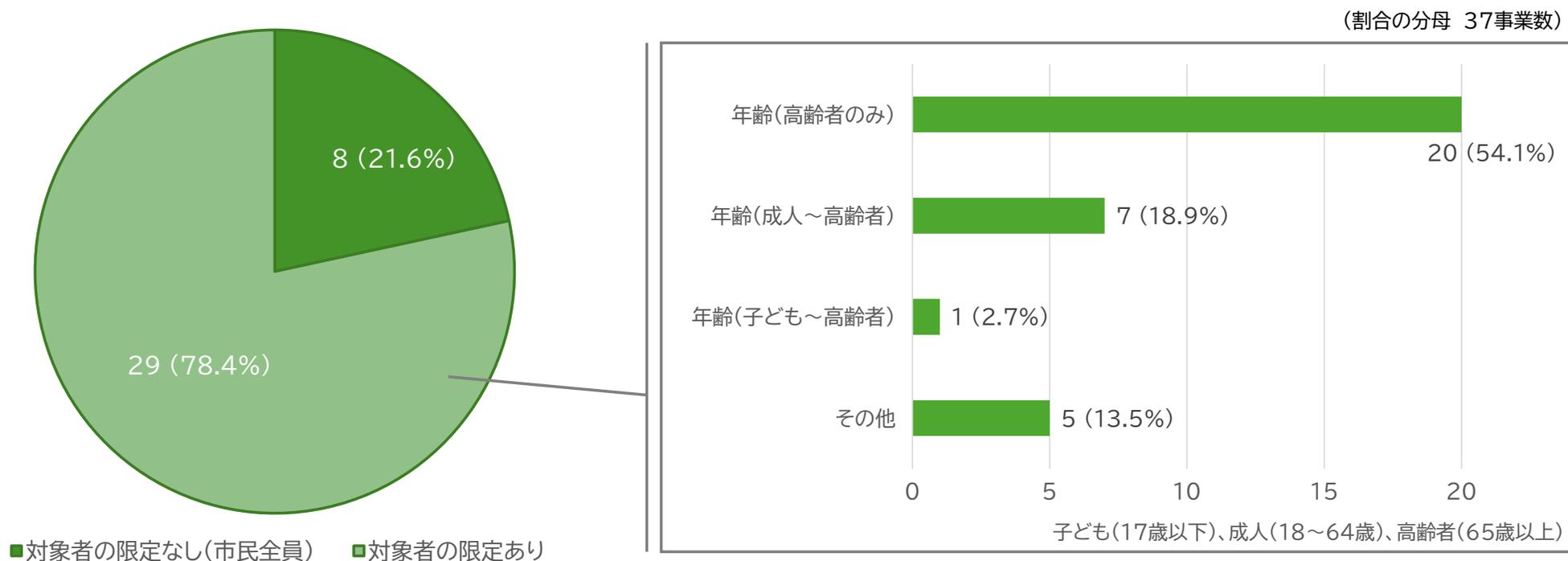
■ 直営(市町村)での実施が最も多い



その他の回答内容: 実施団体に補助金を交付、大学、講師(専門職)を委託、地域包括支援センター

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —対象者の限定

■高齢者のみを対象にした事業が最も多い

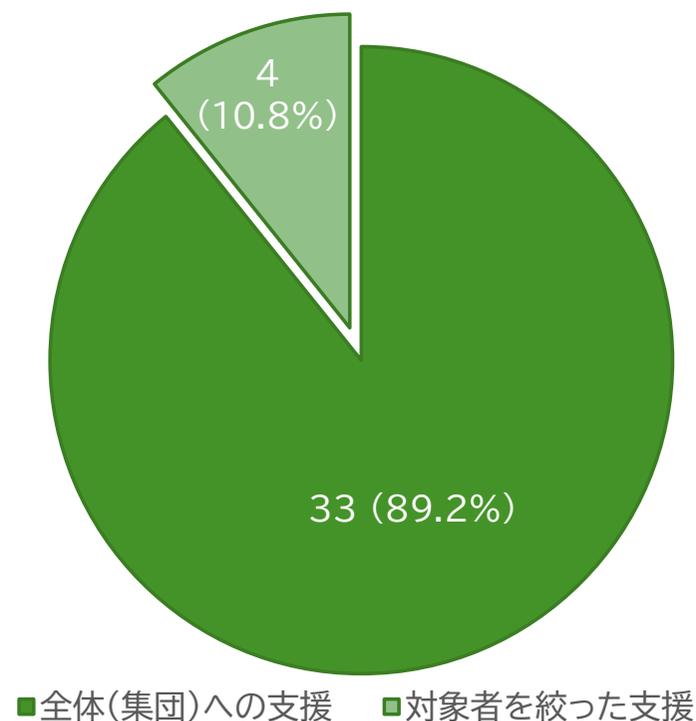


その他の回答内容: 決まった条件下で「いきいき百歳体操」等を実施しようとするグループ、運動制限のない住民、在住・勤務者、基本チェックリスト該当者、介護保険要支援認定者

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —支援方法

■全体(集団)への支援が多い

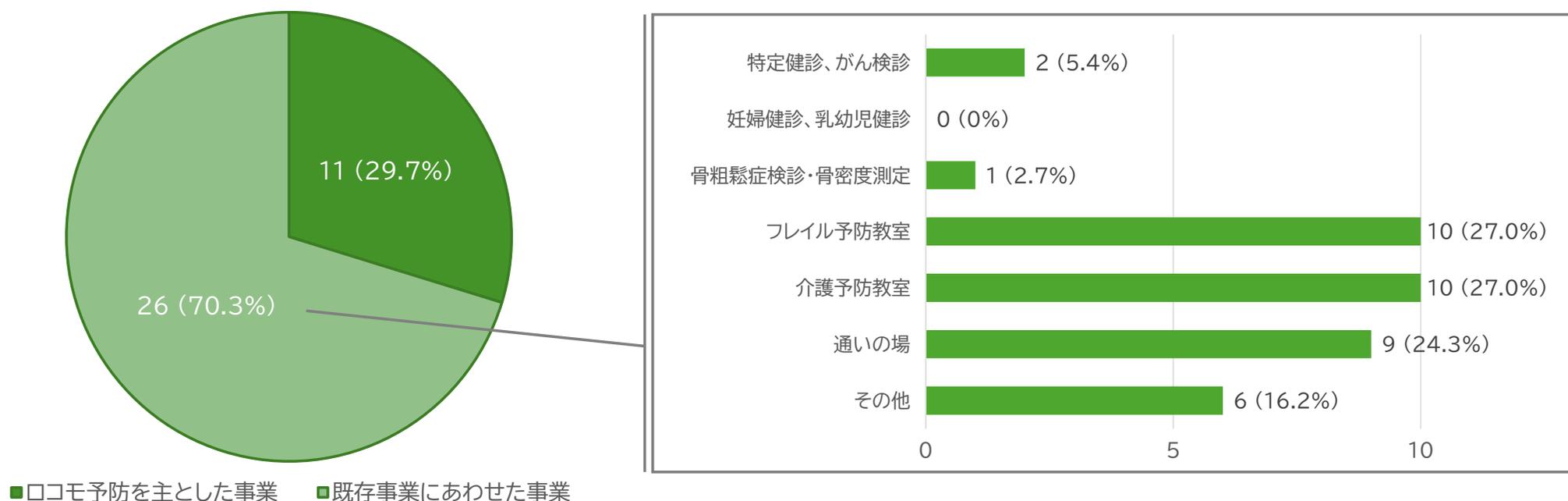
(割合の分母 37事業数)



4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事業運営方法

■ 既存事業(フレイル予防教室・介護予防教室)にあわせた事業実施が最も多い

(割合の分母 37事業数)

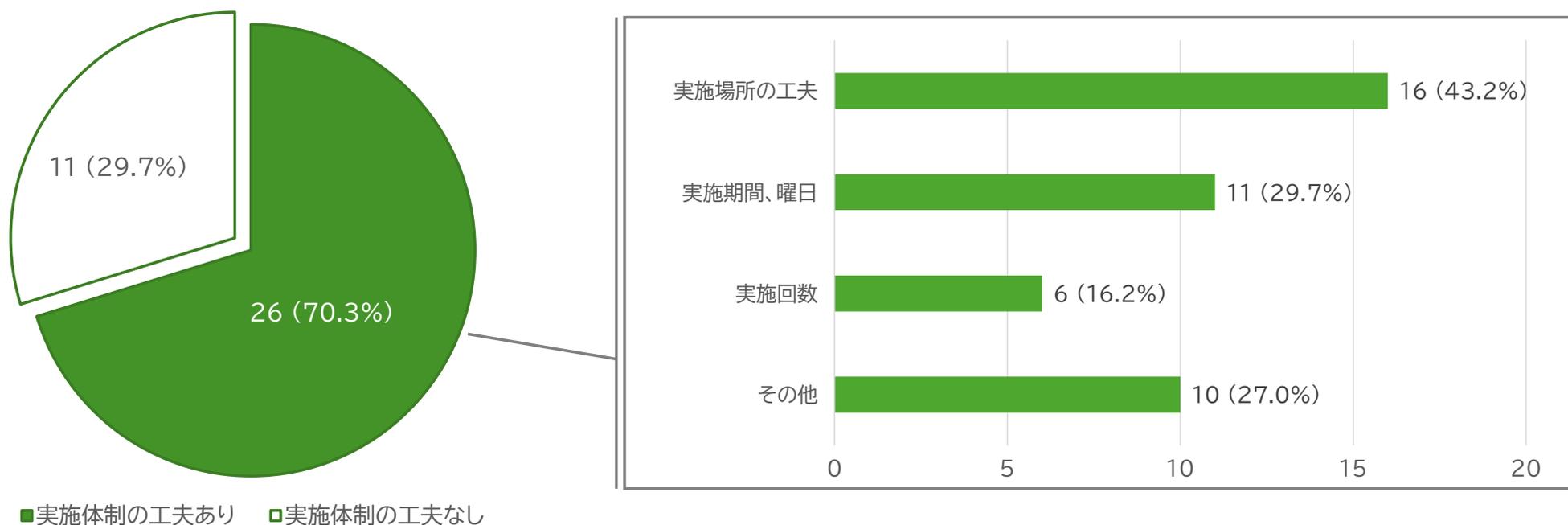


その他の回答内容: 身体活動・フレイル予防のための運動講座、すいた健康サポーター養成講座、いきいき百歳体操、ケア会議、健康相談・健康教育、フレイル測定会

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —実施体制の工夫

■実施場所の工夫をしている事業数が最も多い。

(割合の分母 37事業数)

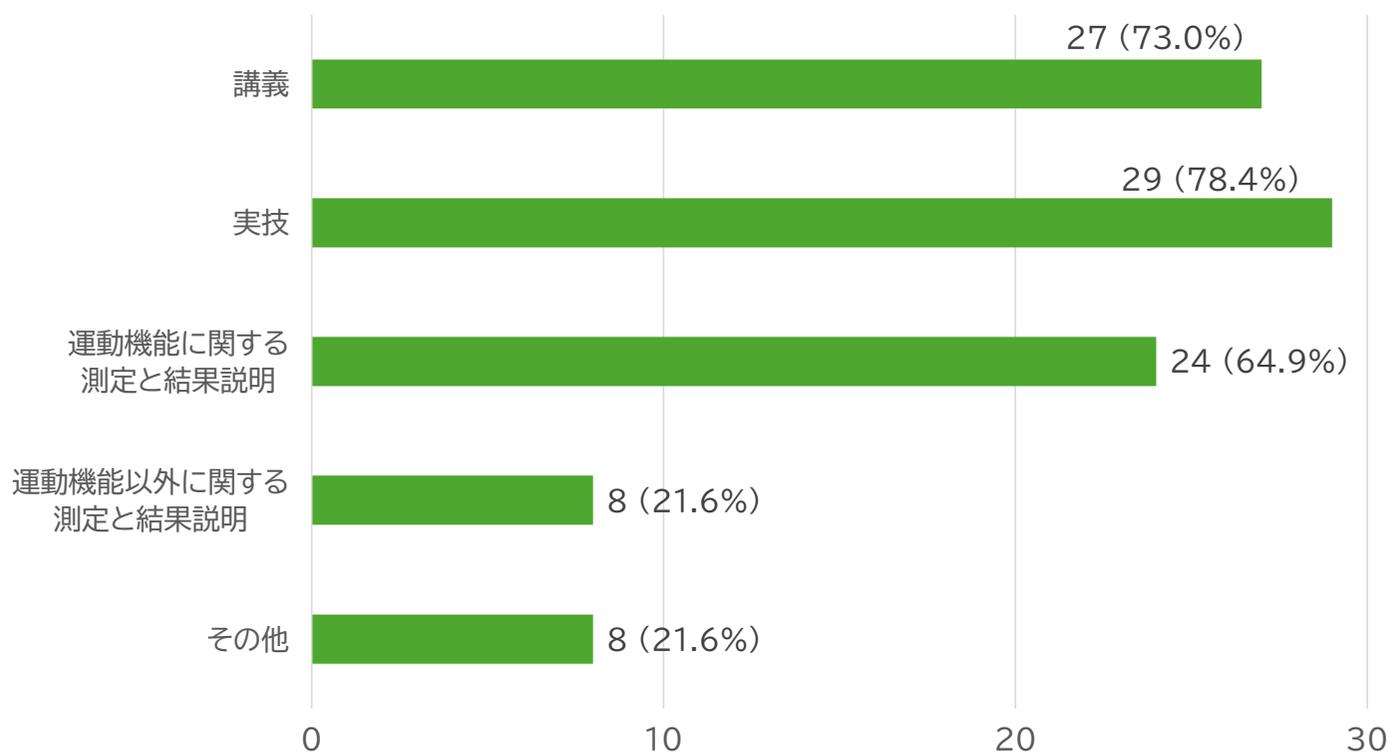


その他の回答内容:啓発・周知、実施体制の工夫(内容)、運動測定、機関連携(地域住民)、事後フォロー/フォローアップ

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事業内容

■ 実技・講義の順で実施数が多い

(割合の分母 37事業数)

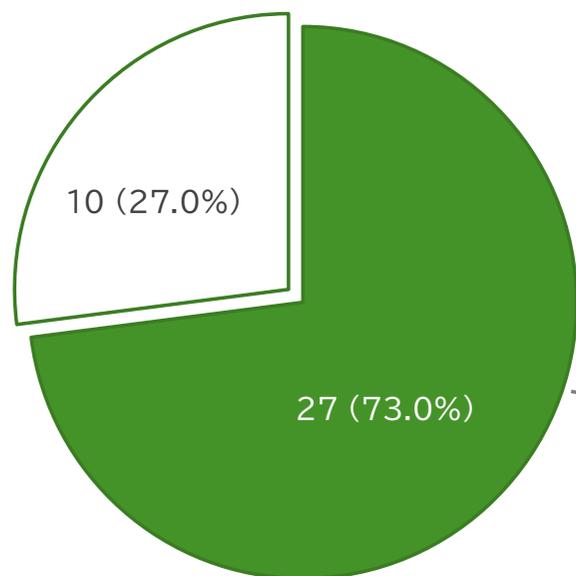


その他の回答内容: 運動に関する情報提供、保健指導・受診勧奨、栄養指導、口腔チェック、健康づくりクイズ

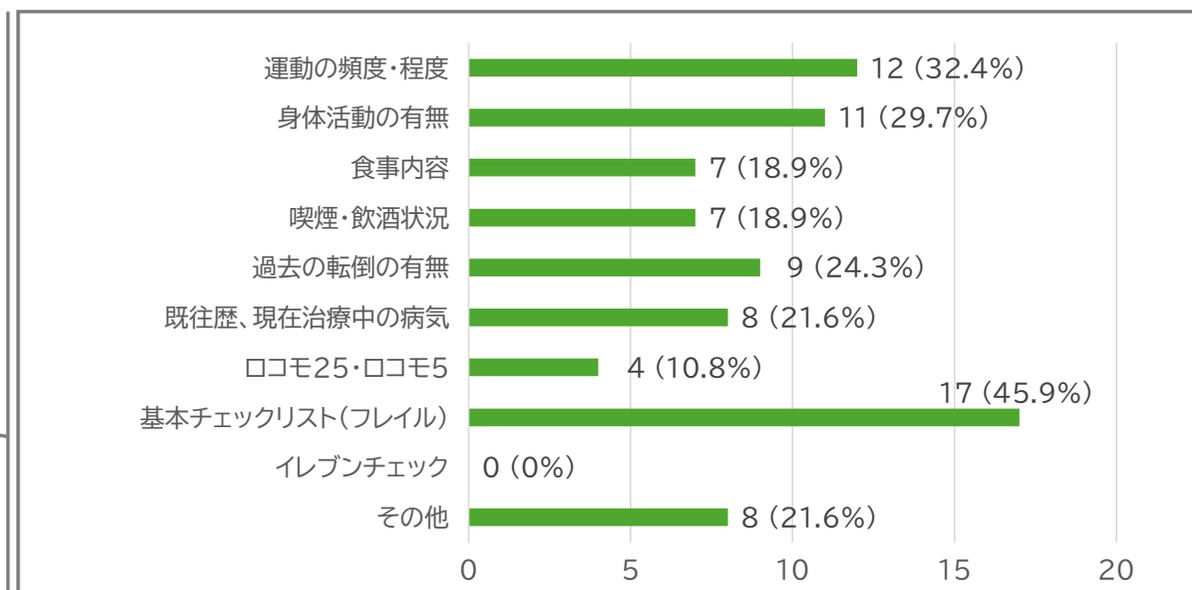
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —問診

■基本チェックリスト(フレイル)を用いた問診をしている事業数が最も多い。

(割合の分母 37事業数)



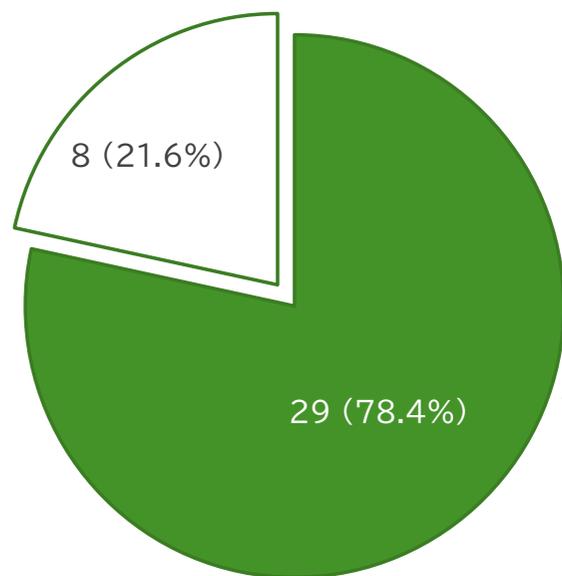
■問診あり □問診なし



その他の回答内容:介護度の聞き取り、口腔状況の聞き取り、後期高齢者の15の質問票、もの忘れスクリーニングテスト(RDST) など

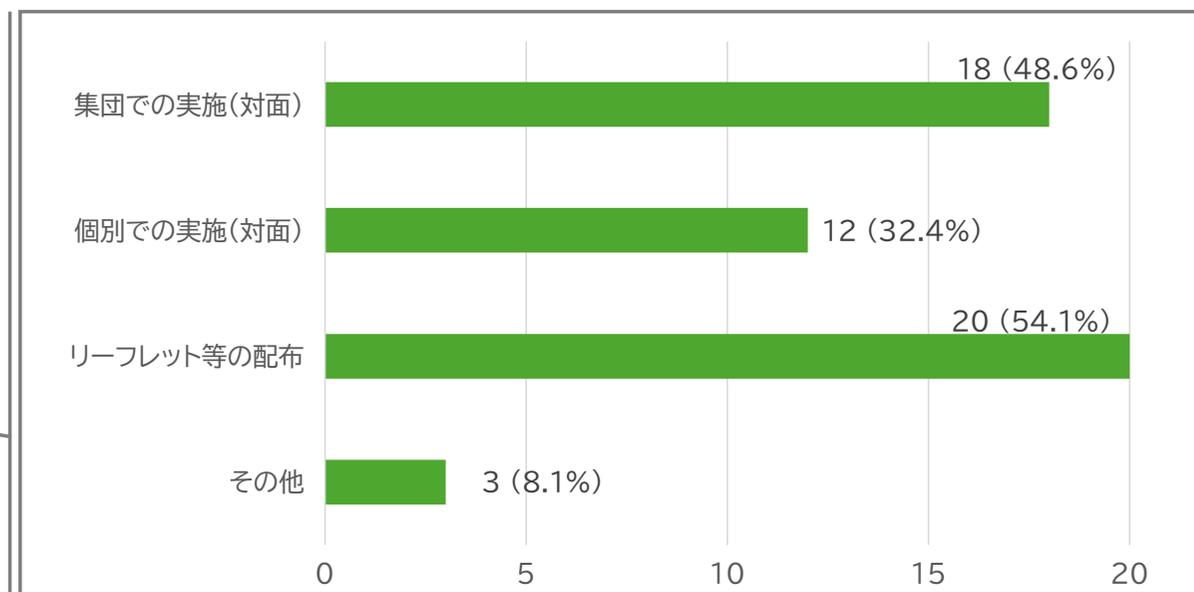
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —保健指導の実施方法

■リーフレット等の配布、集団での実施(対面)の順に多い。



■保健指導あり □保健指導なし

(割合の分母 37事業数)

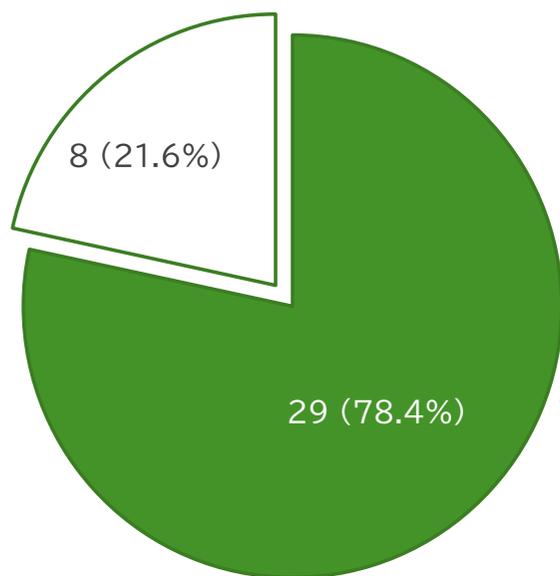


その他の回答内容: 初回時の説明、希望者に個別での説明、保健師が必要に応じて実施

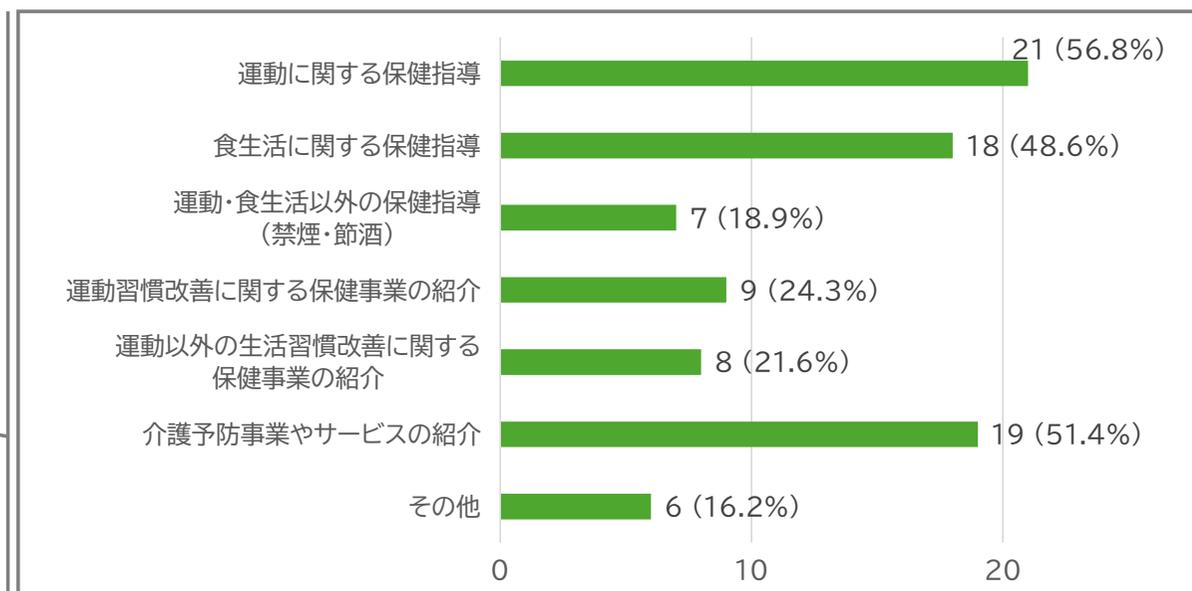
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —保健指導や情報提供の内容

■保健指導では運動・食事に関する内容、
情報提供では介護予防事業・サービスに関する内容が多い。

(割合の分母 37事業数)



■保健指導あり □保健指導なし

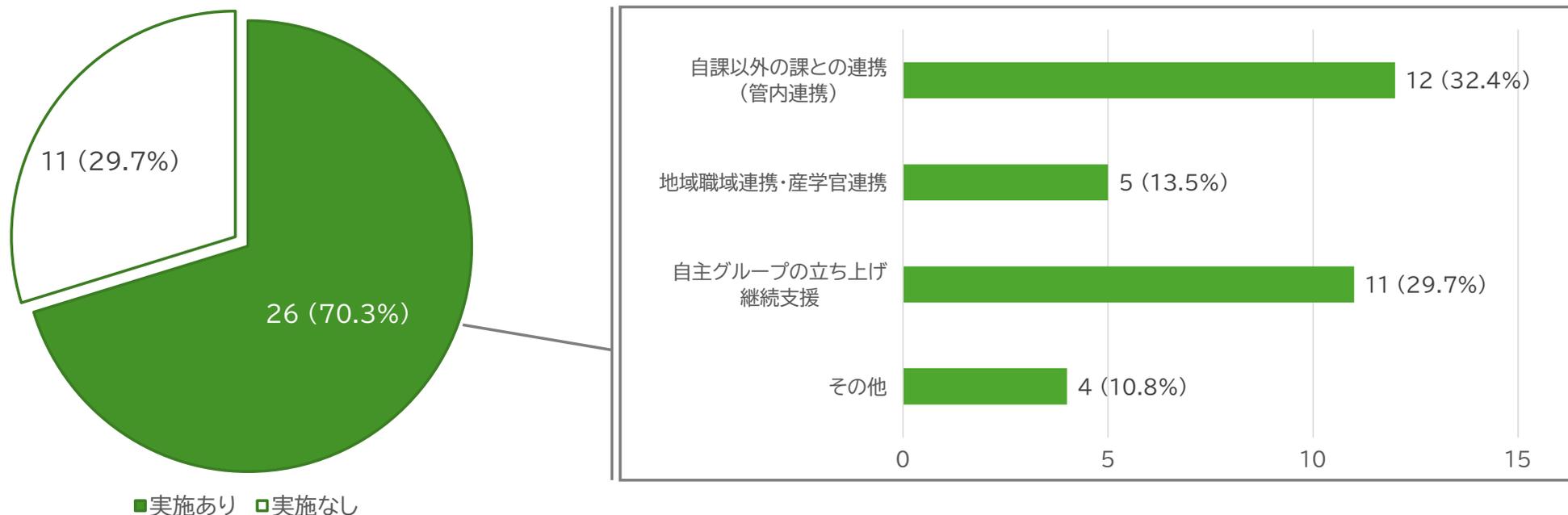


その他の回答内容: 口腔に関する情報提供、介護予防に関する健康情報の提供、フレイルに関する情報提供 など

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —他機関との連携、住民への支援

■管内連携、自主グループの立ち上げや継続支援の順に多い。

(割合の分母 37事業数)

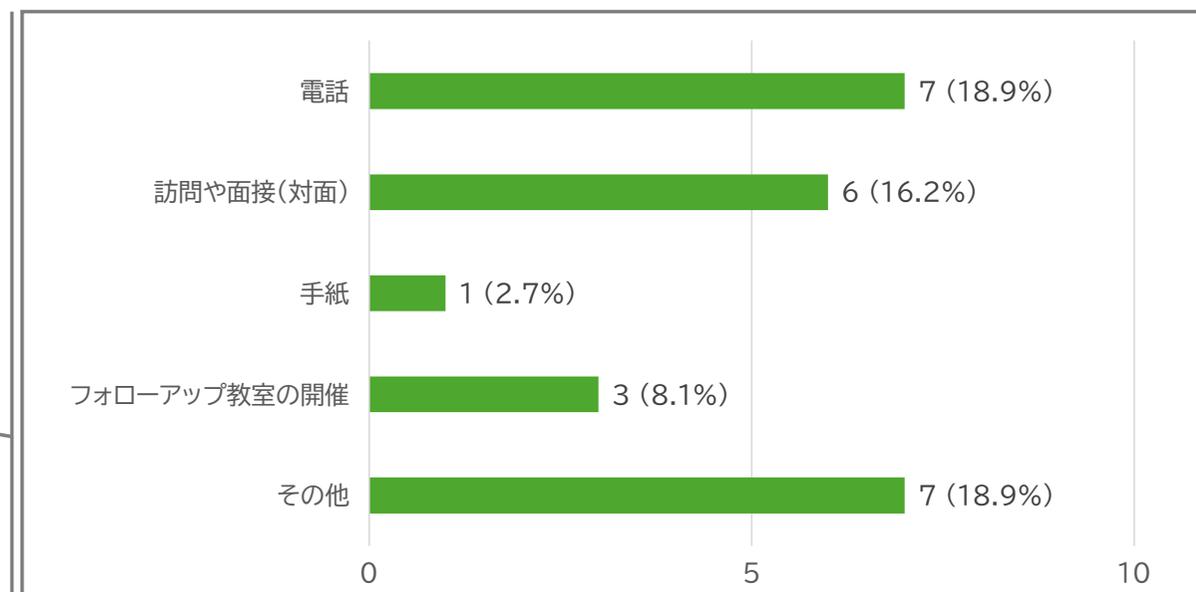
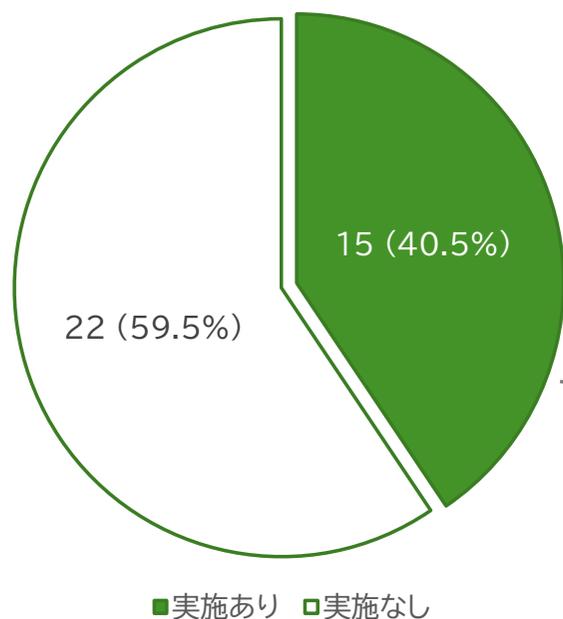


その他の回答内容：運動講座を実施する民間事業者、地域包括支援センター、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、民生委員

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事後フォロー方法

■電話、訪問や面接(対面)の順で、事後フォローを実施している数が多い。

(割合の分母 37事業数)

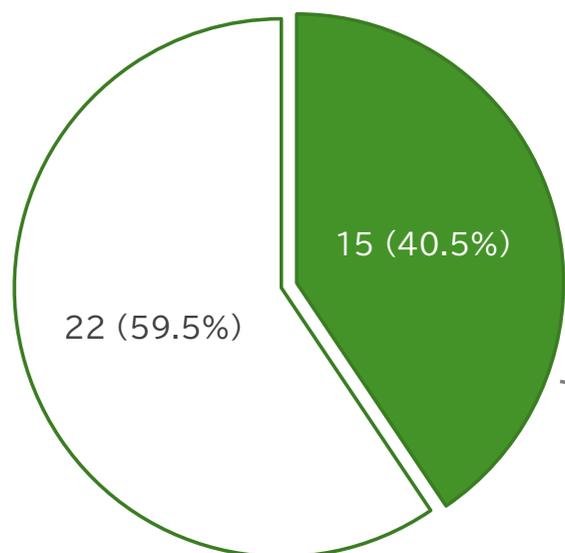


その他の回答内容: 必要に応じた健康教育・保健指導の実施、年2回の継続支援、定期フォローや研修会・勉強会の開催、市町村開催事業の紹介、レセプトデータ確認、アンケート結果の送付

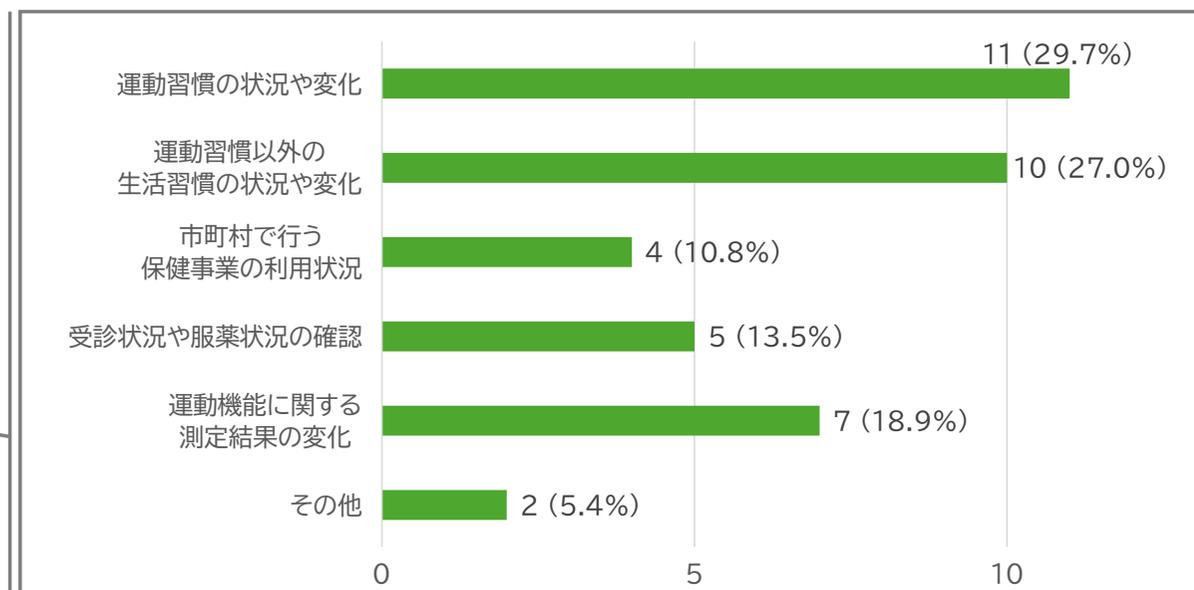
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事後フォローでの確認内容

■運動習慣やそれ以外の生活習慣の状況や変化の確認が多い。

(割合の分母 37事業数)



■実施あり □実施なし

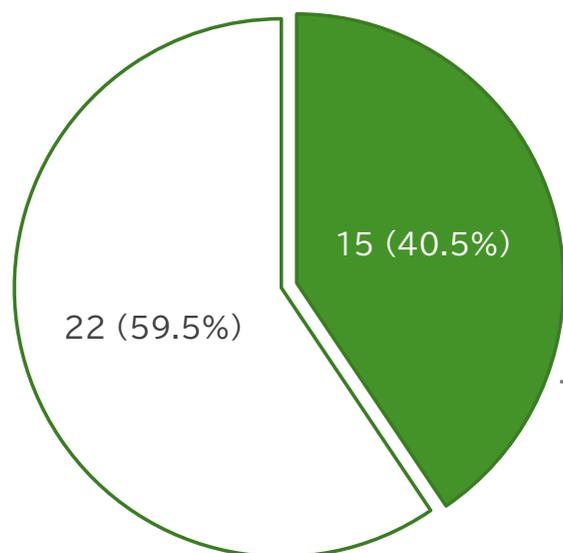


その他の回答内容: 生活課題の有無やその内容、ロコモ度の変化

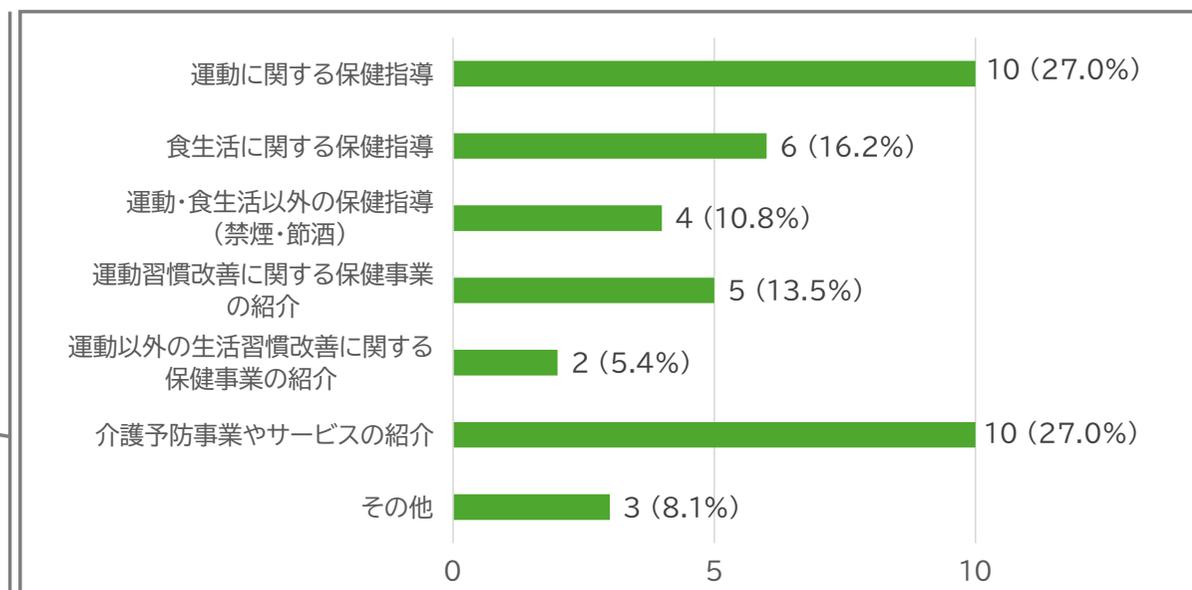
4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事後フォローでの保健指導や情報提供の内容

■運動に関する保健指導、介護予防事業やサービスの紹介が最も多い。

(割合の分母 37事業数)



■実施あり □実施なし



その他の回答内容：フレイルに関する健康教育、ロコトレ体操の復習(講義・実技)、健康カレンダーの配布

4. 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業 —事業評価

■ 自由記載回答内容から、次のような回答が見られた。※

- 参加者数
- 参加団体数
- 参加率・参加状況
- 実施回数
- 健康教育・保健指導の実施者数
- フレイル・ロコモ度・基本チェックリストの結果や変化
- フォローにつながった数、事業参加者数、申込み回数
- 保健指導後の医療機関受診率
- 体力測定結果・BMI等の測定結果や変化
- 運動習慣の有無、習慣ありの割合
- 参加者の生活習慣・意識・QOL等の変化
- 目標達成度・達成率
- 講座の参考度
- 講座の理解度(認知度)
- 参加者の反応(発言・様子)
- 健康寿命
- 要介護度・要介護等認定率
- 介護給付費

※ 各市町村からの回答内容を基に、
担当者が分類分けをした結果

5. 各市町村でのロコモ予防事業について ―課題

「実施体制の工夫」に関する回答内容(抜粋)

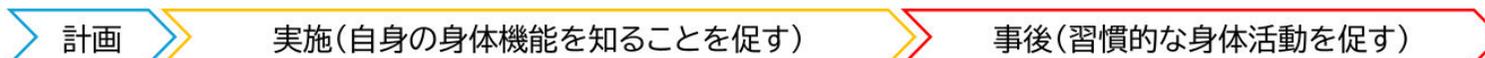
- 他イベントに出向き実施しているため、年間開催数が確約されていない。
- 会場までの交通手段がない方、バス停が遠い、バスの時間が合わない等の理由で来所が困難な方への対策。
認知症の症状がある方が増えているため、スタッフが対応に追われ、人員配置が課題。
- 代表者の高齢化により代表者交代や閉鎖の会場も出てきている。近所に体操を実施していない地域もあり、立ち上げ支援や1回限りの補助金も実施しているが、代表者に手上げに難を示す地域もある。自主グループのため参加者を町会限定に設定する等、近所でも通えない市民もおり、さらに多くの会場立ち上げが必要な状況である。
- 地域で活動しているボランティアの減少。新規参加者の獲得が難しい。
- 毎年同じ人の参加が多い。新規参加者を募集できるよう幅広い周知に努めていきたい。
- 前期高齢者や男性の参加者を増やすこと。
- 高齢介護室の事業において、前期高齢者・男性の参加者数が少ない。

5. 各市町村でのロコモ予防事業について —アピールポイント

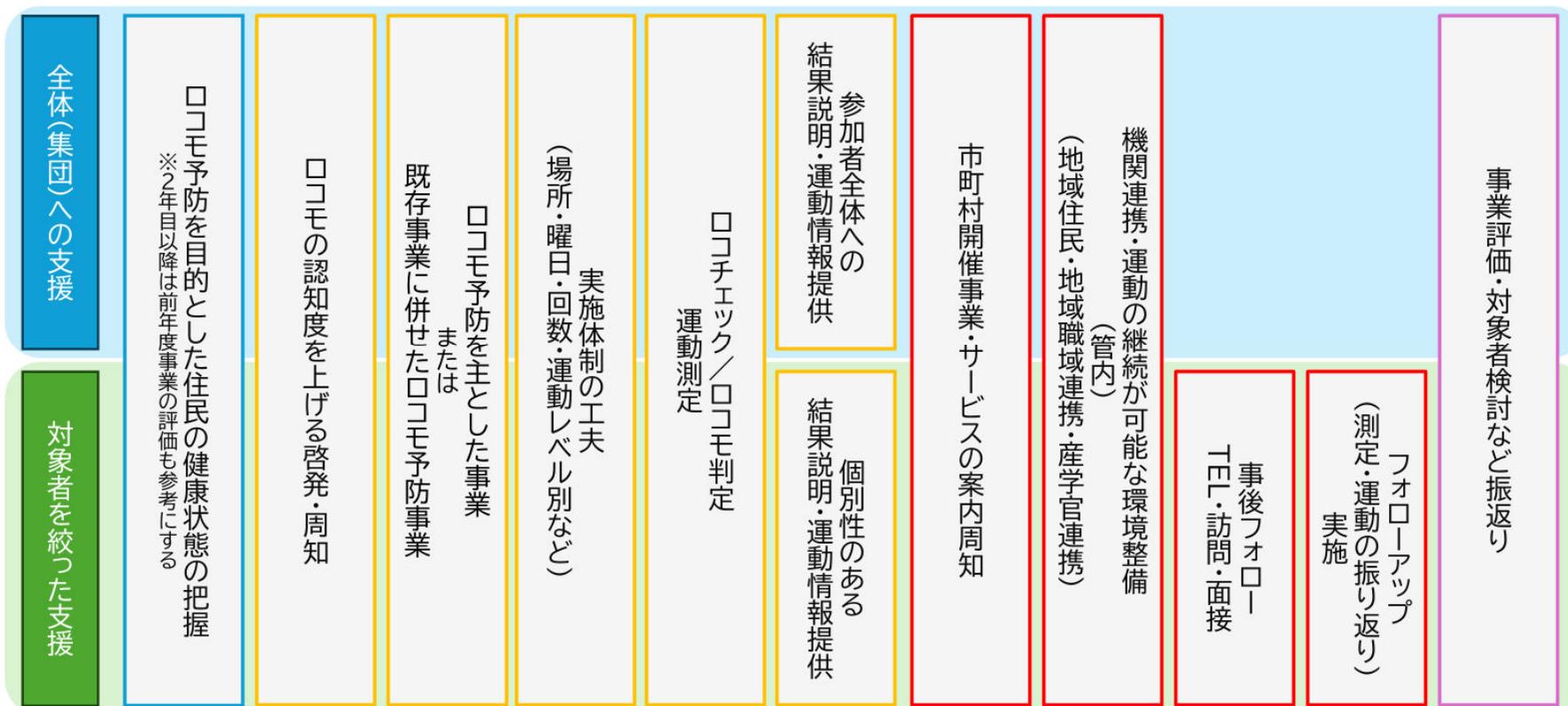
■ 実施体制の工夫に関するアピールポイントが最も多い。*

(回答15市町村、複数項目内容あり)

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
ロコモ予防(フレイル予防を含む)



(案)



4市町村

1市町村

7市町村

3市町村

1市町村

2市町村

その他

1市町村

* 各市町村からの回答内容を基に、担当者が分類分けをした結果

5. 各市町村でのロコモ予防事業について —アピールポイント

「実施体制の工夫」に関する回答内容(抜粋)

- 介護予防に資する住民主体の通いの場として、市内757か所で百歳体操グループが活動している。本市では、体操を始めるための物品(おもりやDVD等)の貸出とリハビリテーション専門職の派遣を行い、百歳体操グループの活動を続けやすくするよう支援している。
- 年度により対象者、1クールあたりの実施回数、場所を変えて開催している。令和6年度は一般市民へは市広報誌で募集し、後期高齢者健診の結果からハイリスク者に案内を送付して参加者を募った。
- 市内に88カ所のいきいき百歳体操が自主グループとして活動しており、年に1回フォローアップで体操の指導や相談会を実施している。できるだけ多くの人に参加継続できるよう、会場のない地域への立ち上げ支援も実施している。
- 働く世代も含めた若年層もターゲットに事業を展開している。
- 男性の参加も多く、新規者のみで教室を実施している。継続参加希望(リピーター)はサポーターになってもらっている。
- 理学療法士によるロコトレを中心とした介護予防トレーニングを実施し、参加は身体が軽くなった、動きやすくなった、気分転換になったとの感想があり、運動の効果を感じている。
- 高齢介護室では、運動機能向上クラス・認知機能向上クラス・生活習慣改善クラス・地域出張型介護予防教室・おためし「いきいきいずみ体操」5種類のクラスで介護予防(フレイルの視点も含む)教室を実施。

まとめ：(令和6年度)

府内市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業の進捗※1

(回答37市町村)

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
ロコモ予防(フレイル予防を含む)

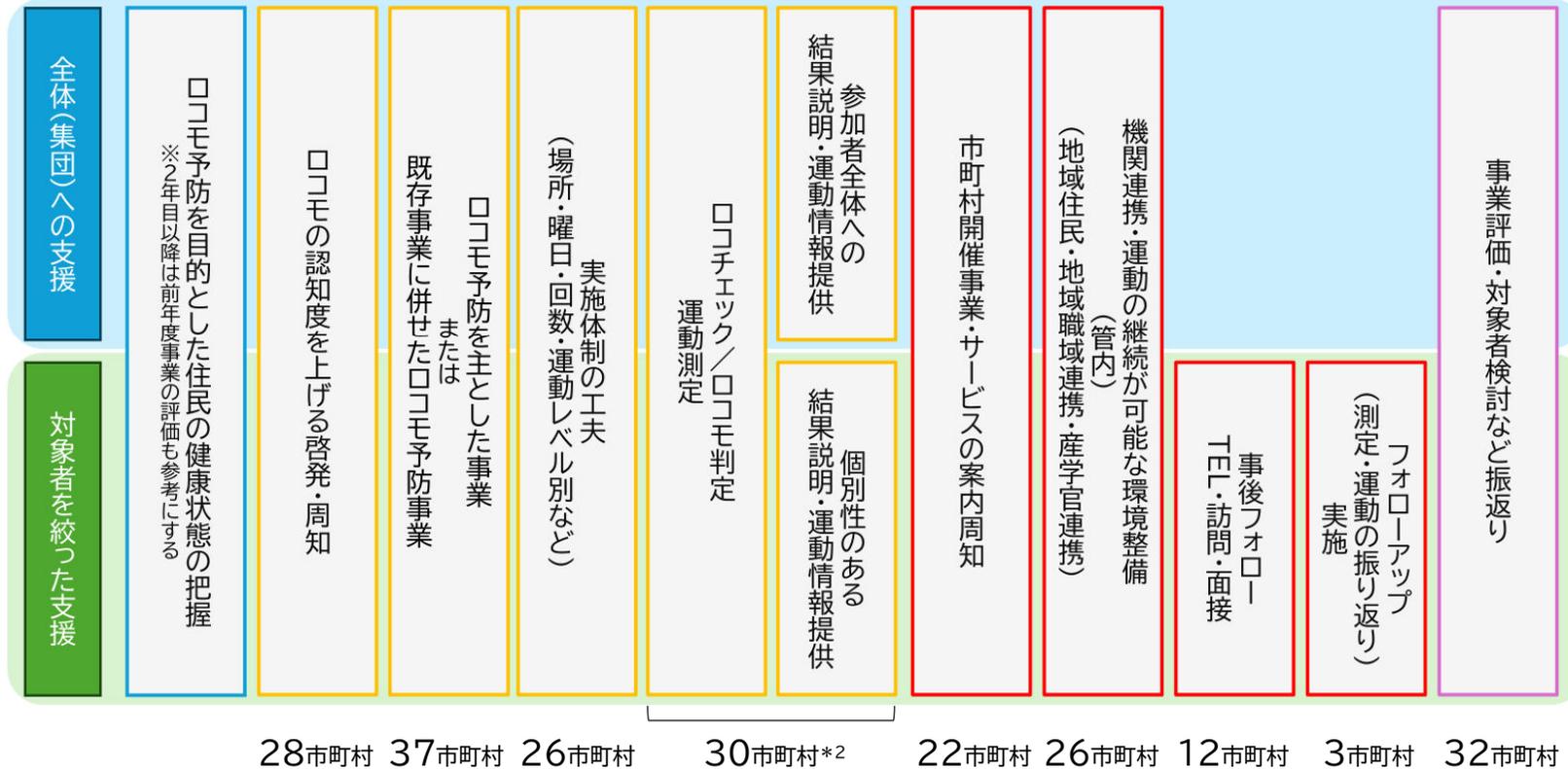
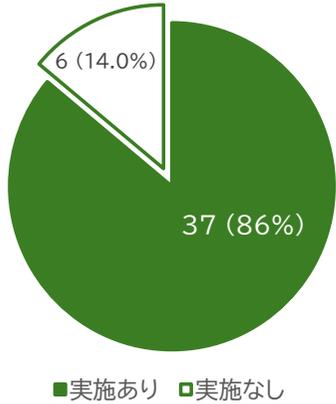
計画

実施(自身の身体機能を知ることを促す)

事後(習慣的な身体活動を促す)

(案)

ロコモ予防を目的とした事業の実施体制



※1 各市町村から1事業ずつ回答を頂いた「令和6年度 各市町村で特に重点を置いて取り組んでいるロコモ予防事業」の結果を反映
 ※2 「運動機能に関する測定と結果説明」または「運動習慣改善に関する保健事業の紹介」のどちらかを実施している市町村数

モデル市町村における 事業の進捗の紹介

汎用性の高い行動変容プログラム（第二期） 実施予定内容と各年度スケジュール

- 令和6年度～令和8年度の3か年度で、「現状把握」、「効果的な取り組み推進につながるプログラムの検討」、「プログラムの提案、実施の推進と、取り組みの効果検証」を行う。

〔R6年度〕

- 市町村の取り組みについての現状を把握する。プログラム案を作成し、提示する。

〔R7年度〕

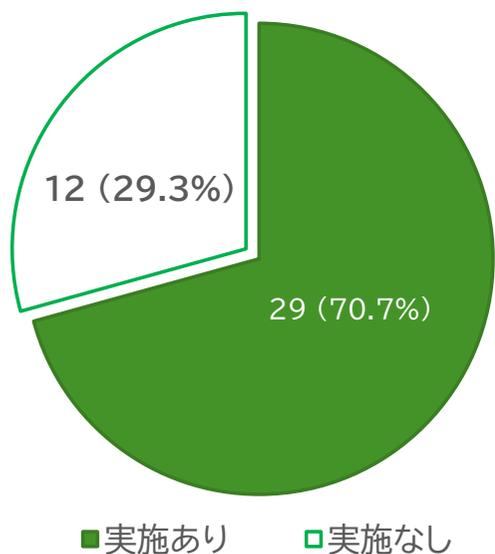
- モデル市町村を選定。
- プログラム案をモデル的に実施し、効果測定を行う。

〔R8年度〕

- R6～7年度の取り組みを踏まえ、プログラムをとりまとめる。

モデル市町村を考えるにあたり…

令和5年度 ロコモ予防を目的とした事業の実施体制



ロコモ予防事業未実施の市町村も
一歩踏み出せるような先事例の提示をしたい

予算や人員を考慮すると…
「既存事業に併せたロコモ予防事業」の方が良い？

普及啓発の事業を実施するハードルを下げるには、
ロコモ予防事業に近い予防事業に力を入れている
自治体が良い？



田尻町に、モデル実施の協力をお願いしました。



大阪府
令和3・4年度
働く世代からのフレイル予防
取組み事例集

— 府内市町村でのフレイルチェックの導入事例をご紹介します —

田尻町
健康応援講座でのフレイルチェック

と き 令和3年11月 (全1回)
と ころ たじりふれ愛センター
対 象 20歳以上の田尻町住民
従事者 田尻町 管理栄養士、保健師など

内容 健康応援講座「フレイルってなんだろう？フレイル予防も生活習慣病予防～の参加者にフレイルチェックと啓発を実施。
(フレイル予防の講話、フレイル質問票、運動、体組成測定)

実施の流れ

受付

管理栄養士による講義
『生活習慣病
フレイル予防の
食事のお話』

フレイルチェック
体組成測定
握力測定

健康レシピの試食

令和5年

・運動した動みになるし、またやりたい。
・自分のからだのことがよくなって興味深かった。

今後継続してフレイルチェックを導入したいと思います
(導入による効果)

思う
・質問項目に答えていただくことで、対象者自身の気づき
また町としての健康課題の把握につながる。
・筋肉、体脂肪など部位ごとの記録が出るため、運動および
アドバイスを効果的に入る。
・個別では、経年的に運動や食事の取り組みの効果を見え
指等や評価に生かすことができる。
・集積では、町全体の健康課題の抽出(年齢、性別などの

町より伺った健康課題などの情報



50歳代の女性・
後期高齢者での骨折が高い



(フレイル予防事業の支援を受けた時)
肥満者が多いと指摘あり

町で実施している様々な事業から検討し…

3歳6か月児健康診査の場を活用した
壮年期(25~44歳)を対象とするロコモ予防事業の実施に決定

事業の目標

ロコモ予防の知識の提供を通じて、
保護者の健康管理も大切であるという気づきを促し、
運動習慣の改善(けんしん受診、健康教室参加、運動の機会の向上など)の
行動に結び付ける。



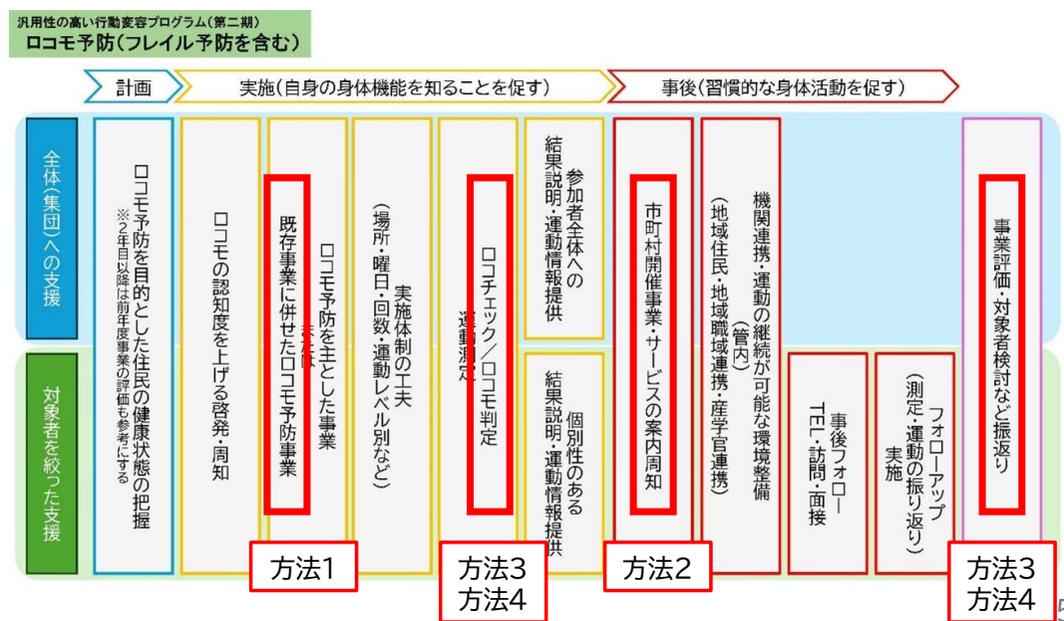
モデル実施について ー概要と方法

事業概要

事業方法: 既存事業に併せたロコモ予防事業
 既存事業内容: 3歳6か月児健康診査
 日時: 9月17日(水)13時～
 場所: 田尻町ふれ愛センター

方法 (■ 当日に実施、 ■ 後日に実施)

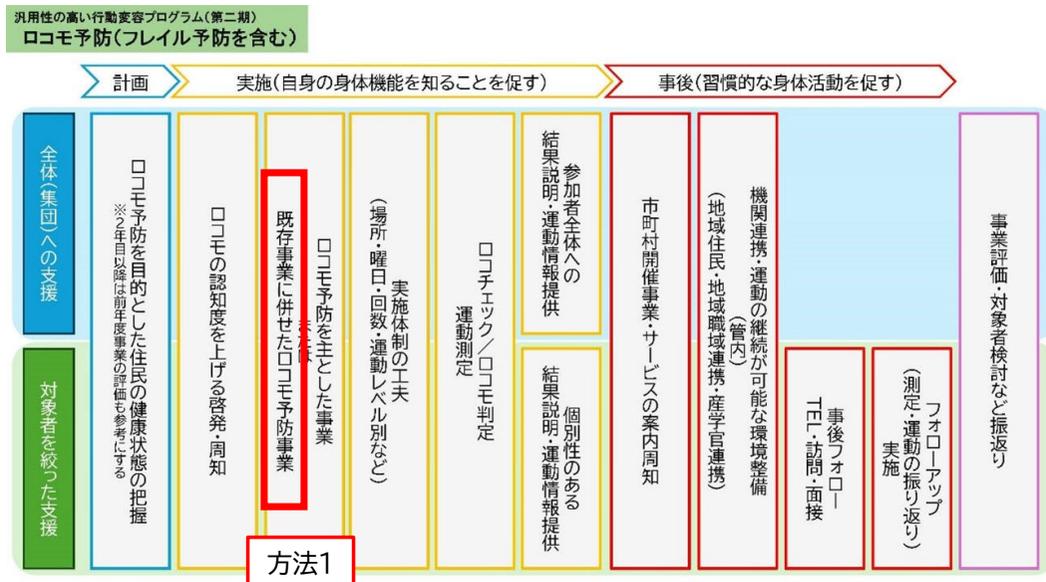
1. リーフレットを用いたロコモ予防の説明
2. 生活習慣改善を促す事業紹介や受診勧奨
3. 事業実施当日のアンケート
4. 事業実施後のアンケート



モデル実施について 一方法の詳細 ■ 当日に実施、■ 後日に実施)

1. リーフレットを用いたロコモ予防の説明

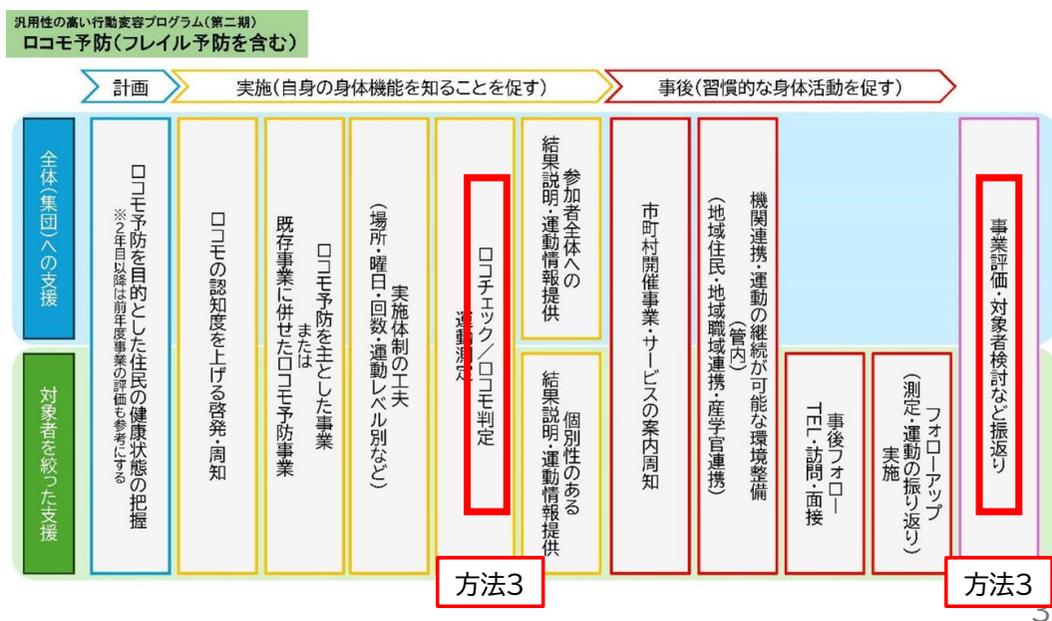
3歳6か月児健康診査の集団説明で、保護者の健康管理の大切さの内容を含んだロコモ予防の説明を行い、保護者へのロコモ予防の普及啓発を行う。



モデル実施について 一方法の詳細 ■ 当日に実施、■ 後日に実施)

3. 事業実施当日のアンケート

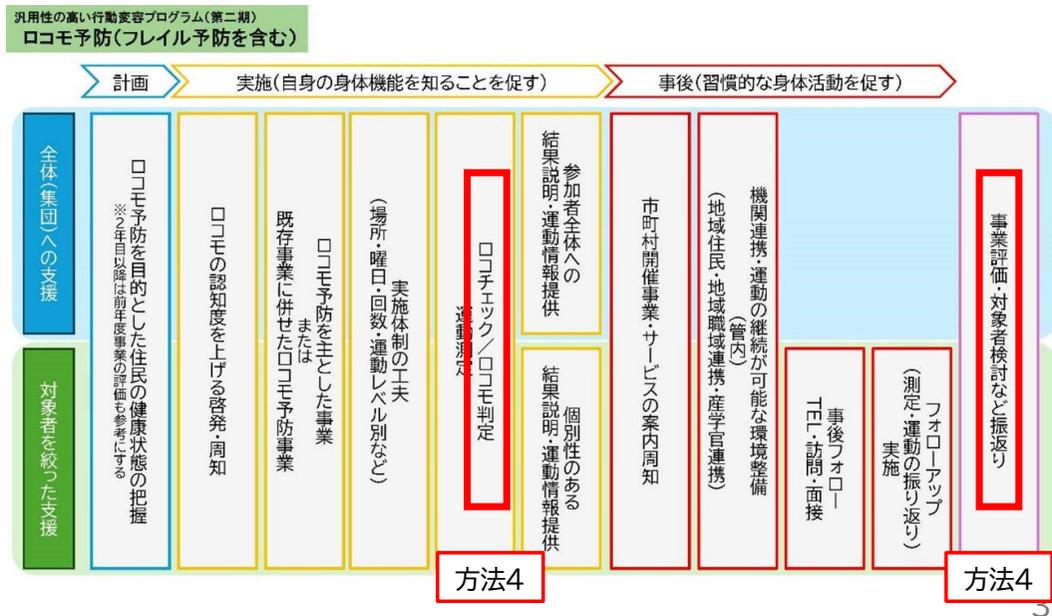
説明を聞いて初めて知った内容、やってみようと思うこと、ロコモ度(ロコモ5)、けんしんの利用状況などを伺うアンケート調査を保護者に行う。



モデル実施について 一方法の詳細 ■ 当日に実施、■ 後日に実施)

4. 事業実施後のアンケート

ロコモ予防の普及啓発を実施後、一定期間を開けて、説明を聞いてから取り組んだ内容、ロコモ度(ロコモ5)、運動習慣の変化などを伺うアンケート調査を保護者に行う。



今後の予定

『方法4. 事業実施後のアンケート』の実施が完了後、以下の内容を含んだ振り返りや意見集約を行う。

- 事業実施当日のアンケート、事業実施後のアンケートのまとめ
- モデル事業の実施やアンケート結果より得られたこと
- 口コミ予防事業の取組をこれから進めるにあたっての課題、改善点など
- 汎用性の高い行動変容プログラム 第二期(案)に対する改善点などの意見



田尻町健康課の皆様、モデル実施にご協力いただき、ありがとうございます。
引き続き、ご協力を宜しく申し上げます。



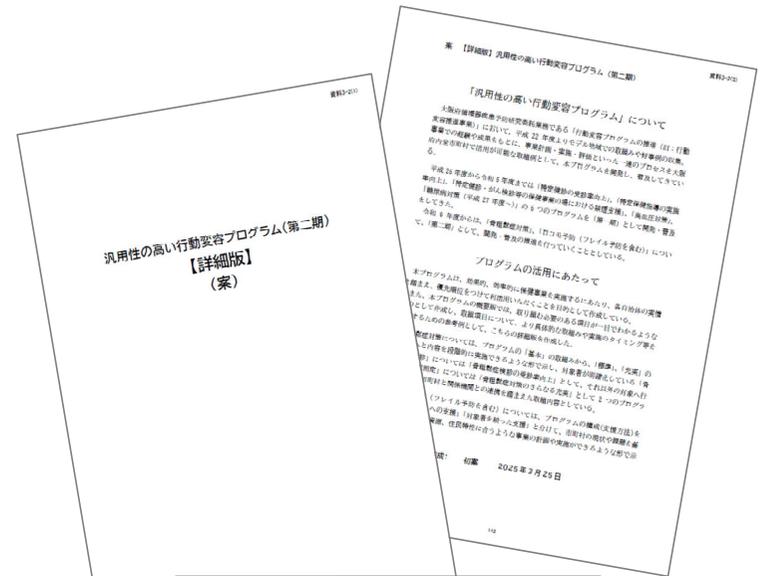
汎用性の高い行動変容プログラム 第二期(案) 紹介・修正予定内容

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)

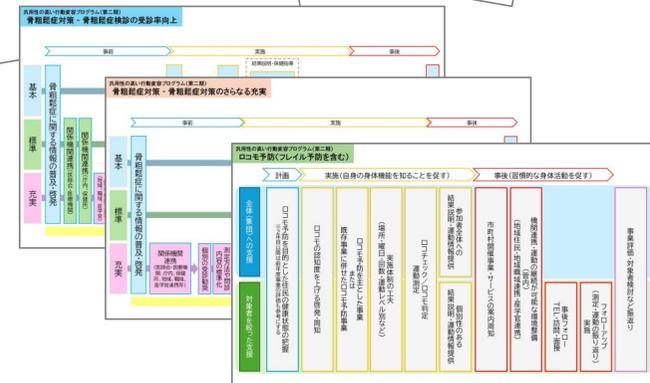
- 骨粗鬆症対策

- 骨粗鬆症検診の受診率向上
- 骨粗鬆症対策のさらなる充実

- ココモ予防(フレイル予防を含む)



プログラム案については「行動変容プログラムの推進」R6年度報告書にて、概要版；108ページ～、詳細版；111ページ～に掲載しています。



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
ロコモ予防(フレイル予防を含む)

計画

実施(自身の身体機能を知ることを促す)

事後(習慣的な身体活動を促す)

全体(集団)への支援

対象者を絞った支援

ロコモ予防を目的とした住民の健康状態の把握
※2年目以降は前年度事業の評価も参考にする

ロコモの認知度を上げる啓発・周知

ロコモ予防を主とした事業
または
既存事業に併せたロコモ予防事業

実施体制の工夫
(場所・曜日・回数・運動レベル別など)

ロコチエック／ロコモ判定
運動測定

参加者全体への
結果説明・運動情報提供

個別性のある
結果説明・運動情報提供

市町村開催事業・サービスの案内周知

機関連携・運動の継続が可能な環境整備
(管内)
(地域住民・地域職域連携・産学官連携)

事後フォロー
「FF」訪問・面接

フォローアップ
(測定・運動の振り返り)
実施

事業評価・対象者検討など振り返り

実態調査より見えた ロコモ予防(フレイル予防も含む)プログラムのポイント

- ロコモ予防プログラムはフレイル予防を含み、重要ポイントは、運動習慣改善・食事習慣改善など様々あるが、アンケート結果をもとに、運動習慣改善に最初の焦点を当てる。

ロコモ予防(フレイル予防も含む)プログラムにおけるポイント

住民が自身の身体機能を知り
身体活動を継続できるようになる

ロコモ予防(フレイル予防も含む)の評価指標(案)

1)府全体での評価指標

府内におけるロコモ予防事業実施市町村数

2)各市町村での評価指標

[1]アウトプット指標

- ロコモ予防事業の実施数、参加者数(延べ)
- ロコモ予防事業での測定、結果説明・運動情報提供実施数(延べ)

[2]アウトカム指標(経年的な評価ではなく、年度毎の評価に限る)

- 「運動習慣リスクなし」の順位(性・年齢調整値)・割合(性・年齢調整値)

「運動習慣リスクなし」とは、標準的な質問票の運動習慣に関する3つの問診項目のうち2つ以上適切な回答を指した場合を意味する
「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施。」の回答が「はい」
「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の回答が「はい」
「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。」の回答が「はい」

ロコモ予防(フレイル予防も含む)の評価指標(案) (修正予定内容)

1)府全体での評価指標

府内におけるロコモ予防事業実施市町村数

2)各市町村での評価指標

[1]アウトプット指標

- ロコモ予防事業の実施数、参加者数(延べ)
- ロコモ予防事業での測定、結果説明・運動情報提供実施数(延べ)

~~[2]アウトカム指標(経年的な評価ではなく、年度毎の評価に限る)~~

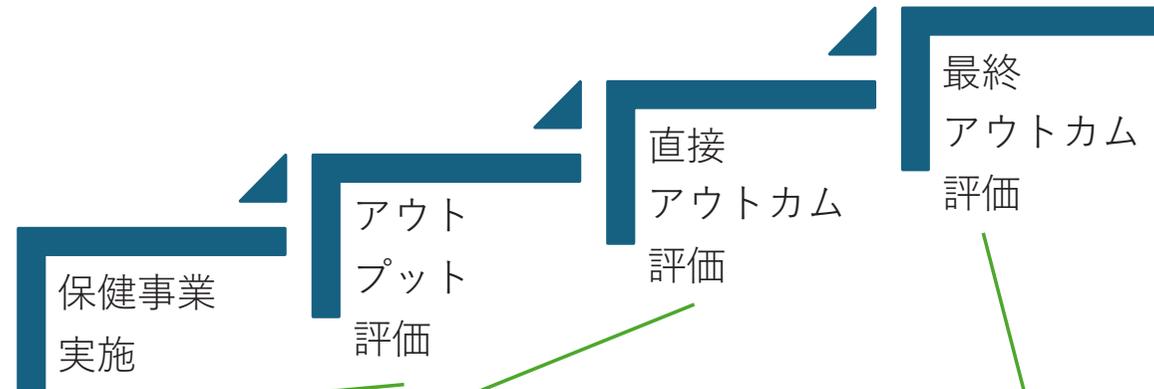
- ~~◦「運動習慣リスクなし」の順位(性・年齢調整値)・割合(性・年齢調整値)~~

[2]アウトカム指標

- ロコモ予防事業の参加前後で、運動習慣を主とする生活習慣がより望ましく変化した人数(延べ)や割合



ロコモ予防(フレイル予防も含む)の評価指標(案) (修正予定内容)



- ロコモ予防事業の実施数、参加者数(延べ)
- ロコモ予防事業での測定、結果説明・運動情報提供実施数(延べ)

ロコモ予防事業の参加前後で、運動習慣を主とする生活習慣がより望ましく変化した人数(延べ)や割合

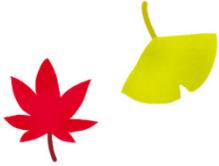
運動習慣が全くない状況から望ましい運動習慣を持つように変化した住民の数や割合

壮年期・中年期

標準的な質問票における運動習慣リスクなしの人数・割合

高年期(高齢者)

後期高齢者の質問票における身体的フレイルの人数・割合



ご清聴ありがとうございました。

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)のご理解、
事業に関する聞き取りなどのご協力をお願いします。

骨粗鬆症対策(骨粗鬆症検診・骨密度測定)、ロコモ予防
アンケート修正や提出 最終締切 2025年12月19日(金)



モデル市町村からの感想

